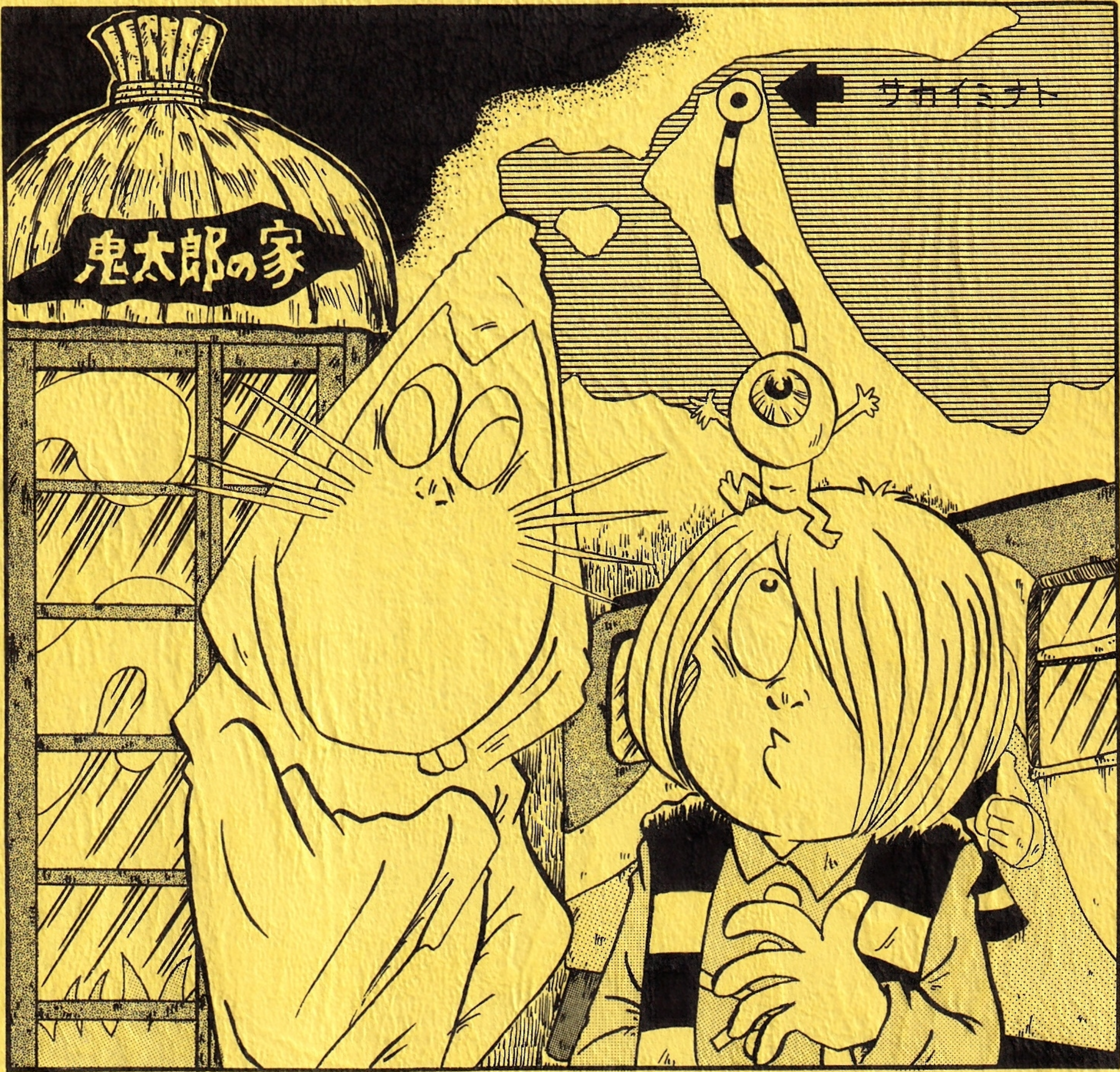
フハッ増刊

水木しげるロード大特集

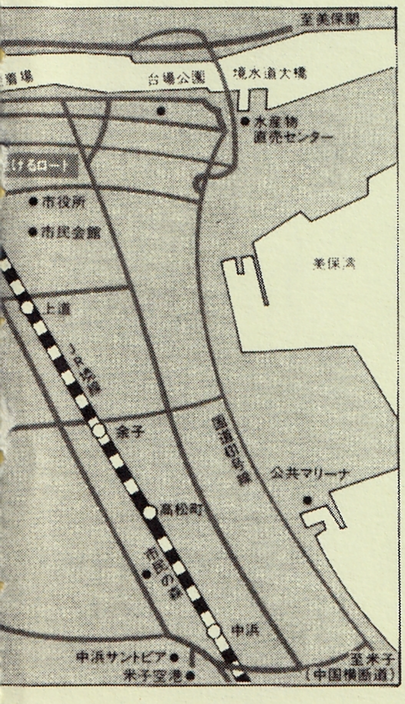


鬼太郎に会えるまち



PROFILE

大正11年境港市入船町に生まれる。昭和23年に、武蔵野美術学校（現大学）に入学。昭和33年「ロケットマン」でデビューし、昭和40年「テレビくん」で講談社児童漫画賞を受賞する。昭和43年《少年マガジン》に「ゲゲゲの鬼太郎」の連載が始まり、テレビアニメ化されるなど大ヒットする。その後、「河童の三平」「悪魔くん」など数多くの作品を発表。昭和63年「昭和史８巻」で講談社漫画賞を受賞。平成４年に発表した「妖怪画談」が大ベストセラーとなる。平成３年紫綬褒章を受賞。現在、日本民族学会会員、民族芸術学会評議員として活躍中。東京都調布市富士見町在住。



都市計画課
港市上道町3000
2111

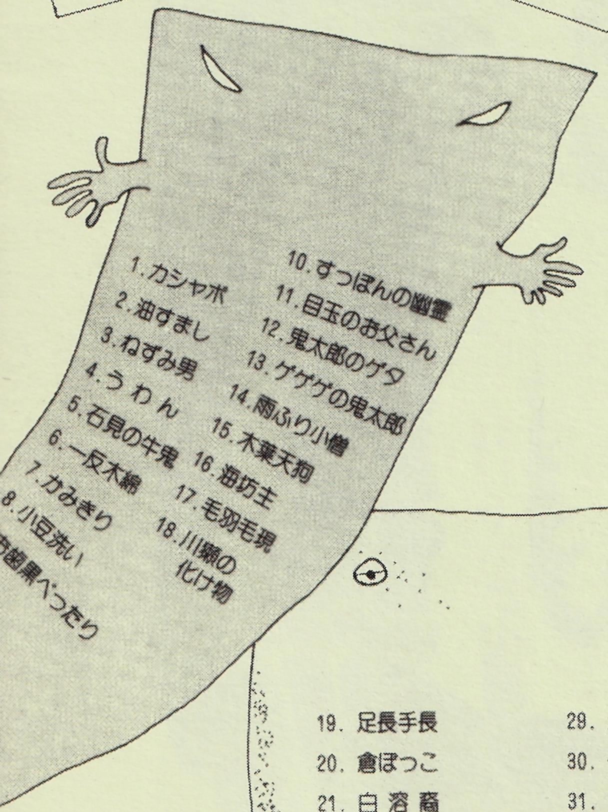
MIZUKI SHIGERU・ROA

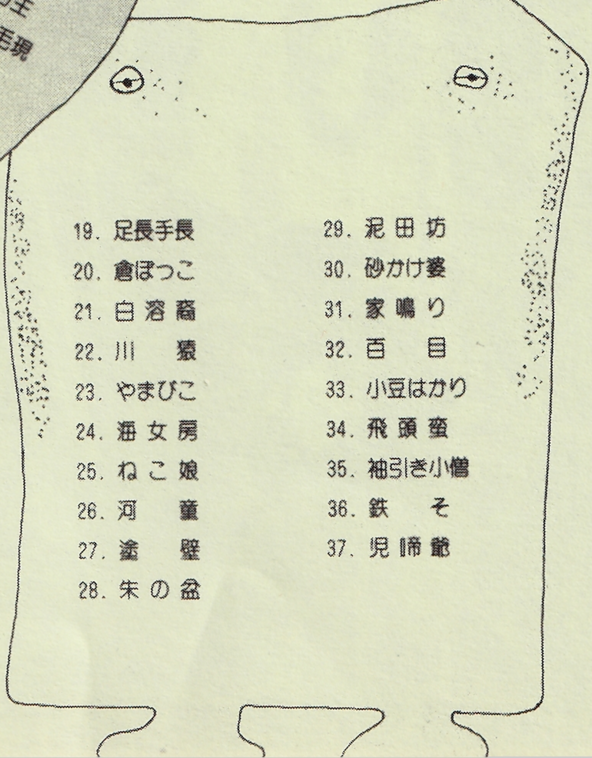


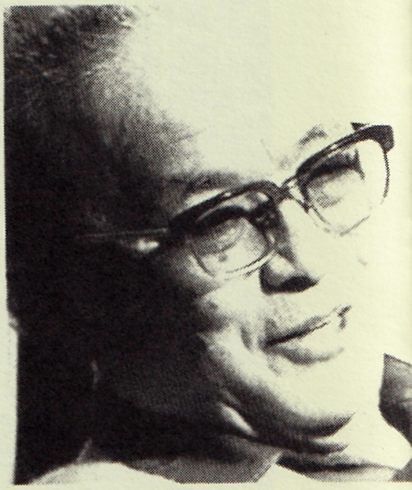
鳥取県境港市



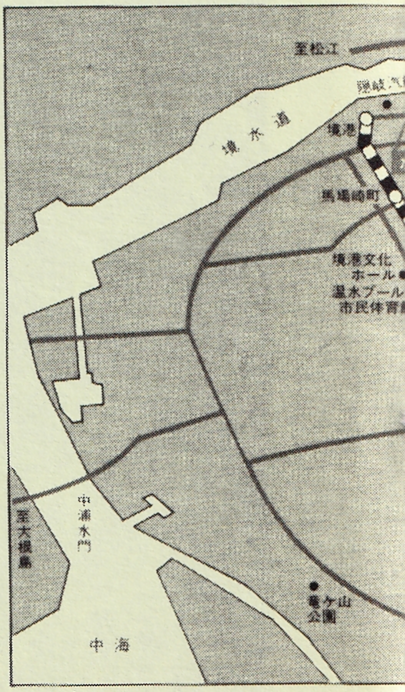


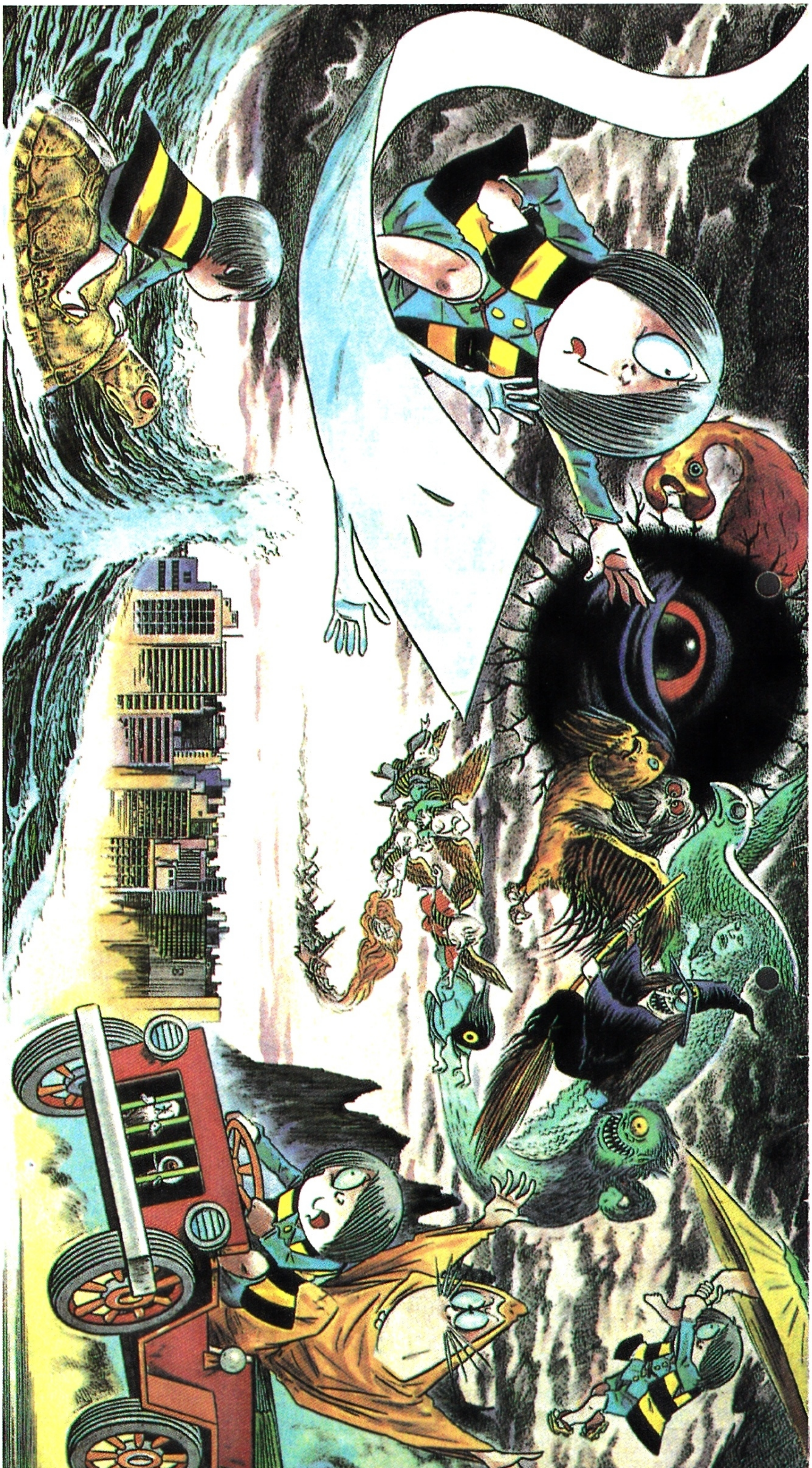

1.カシャボ
2.油すまし
3.ねずみ男
4.うわん
5.石見の牛鬼
6.一反木綿
7.かみきり
8.小豆洗い
10.すっぽんの幽霊
11.目玉のお父さん
12.鬼太郎のゲタ
13.ゲゲゲの鬼太郎
14.雨ふり小僧
15.木葉天狗
16.海坊主
17.毛羽毛現
18.川獺の化け物

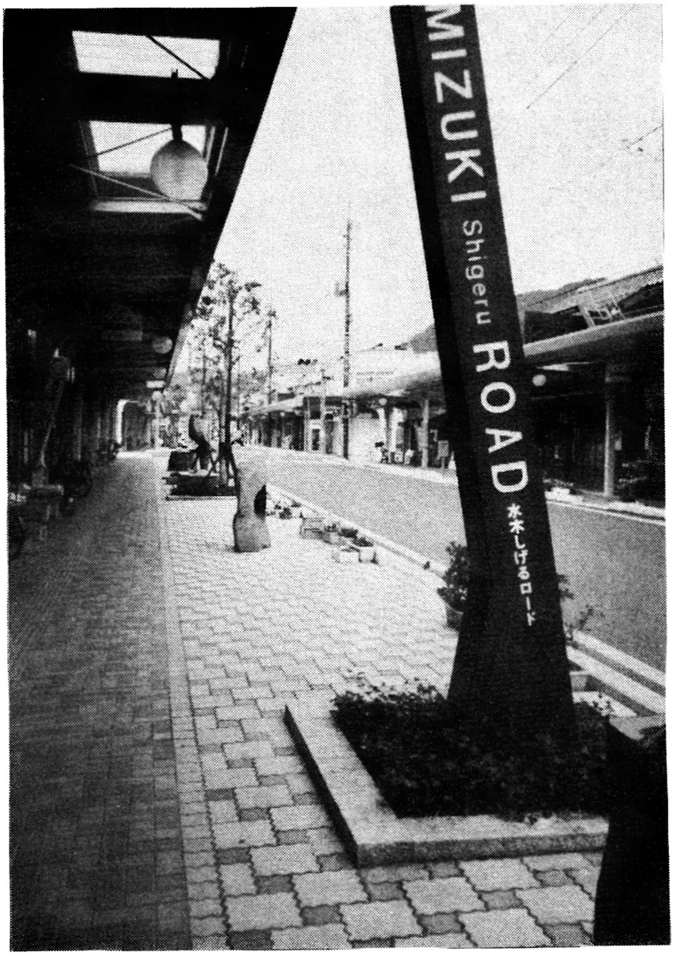

19. 足長手長
20. 倉ぼっこ
21. 白溶裔
22. 川　猿
23. やまびこ
24. 海女房
25. ねこ娘
26. 河　童
27. 塗　壁
28. 朱の盆
29. 泥田坊
30. 砂かけ婆
31. 家鳴り
32. 百　目
33. 小豆はかり
34. 飛頭蛮
35. 袖引き小僧
36. 鉄　そ
37. 児啼爺



―水木しげる氏―


至松江
境水道
馬場崎町
中浦水門
至大根島
中海







鬼太郎に逢える街
水木ロード 大特集

● もくじ ●

鬼太郎がやって来



今年の夏、境港市に「鬼太郎」がやって来ました。
そして、「ねずみ男」「目玉おやじ」「一反木綿」など、子供たちにおなじみの妖怪も続々とやって来ました。
「鬼太郎」や妖怪たちが立ち並ぶ道は「水木しげるロード」と名づけられ、全国から多くの見物客が、訪れてくるようになりました。人通りの少なかった商店街は、にぎわいを取り戻し活気づきます。
漁獲量日本一を誇る水産のまち境港市に、もうひとつの顔が誕生しました。「水木しげるロード」というユニークな顔が。
今回は、「水木しげるロード」が巻き起こした鬼太郎ブームで盛り上がる「まち」の様子。そして、ロードにお目見えした愉快な「妖怪」たちをご紹介します。





俳優の佐野史郎さんも親子で記念撮影
（写真提供～新田真由美さん）

「水木しげるロード」には 優しさと こだわりがあります

人に優しく、個性的なまちづくりを進める境港市は、親しみの持てる楽しい「道」の建設に取り組んでいます。

今年の七月、計画区間の約半分が完成した「水木しげるロード」もそのうちのひとつ。境港市出身の漫画家・水木しげるさんの描く妖怪がブロンズ像になって、歩道に立ち並ぶユニークな道です。

「水木しげるロード」の計画区間は、松ケ枝町商店街からJR境港駅前までの四百四十メートル。商店街を活性化しようと、アーケードの改築や歩道の拡幅を行うほか、妖怪のブロンズ像や妖怪の描かれたタイル、通り過ぎる人をセンサーが感知し「鬼太郎」の音楽が流れる表示塔を歩道に設置するなど、妖怪をテーマにしたコミュニティ道路として整備していきます。

今回完成したのは、松ケ枝町商店街通り二百八十メートルの一期工事区間で、幅五メートルの南側歩道に、表示塔と妖怪のブロンズ像二十三体を設置しました。

おなじみの「鬼太郎」「ねずみ男」「目玉おやじ」の三体は、水木さんの原作通りの大きさで作られ、座った「鬼太郎」は一メートル、手を差し出す「ねずみ男」は一・六メートル、おわんの中に立つ「目玉おやじ」は十五センチメートルの高さになっています。

そして、そのほかの妖怪は、高さが十～三十センチメートルと手のひらに乗るくらいに小さく作られ、それぞれが黒御影石の台座にボルトで取り付けられています。

「水木しげるロード」に立ち並ぶ妖怪たちは、手で触れることができます。「鬼太郎」はそばに座ってくれる人を待っていますし、「ねずみ男」は握手を求めてきます。小さな妖怪たちも、だれかになでてもらおうと微笑みかけてきます。そして、妖怪の台座はベンチのように座れるものや、小さな子供たちが妖怪に届くように踏み台になるものもあります。また、記念撮影をする場合の撮影位置を考えてブロンズ像を配置するなど、「水木しげるロード」には優しさがあり、こだわりがあります。

平成六年の夏に完成します

市は、二期工事として引き続き、大正町商店街通り百六十メートルを整備していきます。拡幅した歩道の両側には「ねこ娘」「塗壁」「砂かけ婆」などの妖怪十四体のブロンズ像を設置するほか、JR境港駅前に小さな公園を作り、子供たちがくぐり抜けをして遊ぶことのできるアクリル製の照明板やベンチ、目玉の街灯を置く計画で、平成六年の夏に完成します。

予想以上の反響
鬼太郎ブームに活気づくまち



子供たちと一緒に鬼太郎を除幕する水木しげるさん(左)と黒見市長

「水木しげるロード」の一期工事が完成し、松ケ枝町商店街で七月十八日、水木しげるさんをお招きして盛大に除幕式が行われました。

この日は、あいにくの雨模様でしたが、全国でも類を見ないユニークな道の誕生を祝おうと、大勢の市民が出席。子供たちと一緒に水木さんと黒見市長が「鬼太郎」「ねずみ男」を除幕すると、ほかの妖怪も出席者によって次々と除幕され、全部で二十三体の愉快な妖怪たちが姿を現しました。

水木さんをお招きして　盛大に除幕式

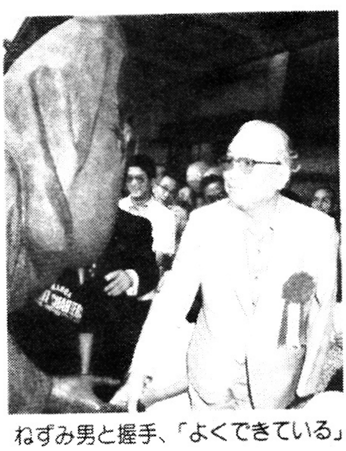
除幕式には、松ケ枝町と大正町自治会の皆さんが、「鬼太郎音頭」の歌と踊りを披露、アーケードの上からは餅が投げられるなど、にぎやかに「水木しげるロード」の完成を祝いました。

その模様が、テレビ、新聞、雑誌などを通して全国に紹介されると、市役所には問い合わせの電話が殺到しました。そして、「水木しげるロード」には全国から多くの見物客が続々と訪れてきました。人通りの少なかった商店街には、妖怪の前で記念撮影をする家族連れや、みやげ物を買い求める人が後を絶たず、昔のにぎわいが戻ってきました。

商店街では、予想以上の反響に驚きながらも、せんべい、パン、キーホルダー、バッジ、Tシャツ、ミニゲタなど、さまざまな鬼太郎グッズを販売。夏休みに入ると評判になる商品も出てくるほどの売れ行きで、「水木しげるロード」は、にぎわいを増すばかり。

一方、市は「鬼太郎に会えるまち」をキャッチフレーズにした鬼太郎のイラスト入り官製ハガキを作成し、市民向けに二千枚販売したところ、約一週間で売り切れたため増刷。ところが、増刷ハガキも販売後二日で売り切れてしまうという人気ぶり。

「鬼太郎」ブームに、まちは活気づきます。



ねずみ男と握手、「よくできている」と水木さん。



▲山陰路観光キャンペーンのオープニングセレモニーで披露



▶除幕式で初公開



鬼太郎列車出発式を祝う

鬼太郎音頭・踊り誕生



除幕式で初公開された「鬼太郎音頭」の歌と踊りは大好評。その後も、米子空港で開催された山陰路観光キャンペーンのオープニングセレモニー、東京のデパート、みなと祭、鬼太郎列車の出発式などで披露され、すっかりおなじみになりました。

〽ここは松ケ枝　朝日を浴びて
老いも若きも　集う町
楠の木　青葉　さわやかに
おいでおいでと　そよぐ風
ふれあい広場の　鬼太郎ロード
鬼太郎音頭で　夢を呼ぶ
鬼太郎音頭で　シャシャント夢を呼ぶ

「鬼太郎音頭」は、鬼太郎ブームを盛り上げようと、松ケ枝町自治会と大正町自治会が共同で制作しました。両自治会で結成した鬼太郎音頭制作委員会が、町の人の意見を参考に作詞、米子市在住の作曲家・石田光輝さんが作曲したものです。明るく軽快な曲で、歌詞は四番まであります。

また、踊りの振り付けは仲里昭子さん（馬場崎町）が担当しました。ゲタを履いておどける「鬼太郎」や、手招きする妖怪のユーモラスな姿が取り入れられ、子供からお年寄りまで親しまれる踊りになっています。

楽しく踊ってもらえれば



仲里昭子さん
（馬場崎町）

ビデオテープを借りて、鬼太郎やねずみ男の特徴を一生懸命に勉強しました。子供でもお年寄りでも簡単に覚えられ、途中からでも踊りの輪に入っていける振り付けにしています。振りの基本形はありますが、皆さんに楽しく踊ってもらえればいいのではないでしょうか。踊りの指導は、佐々木紀子さんたち「若葉の会」の皆さんが手伝ってくださるので、とても助かっています。

交流が深まりました



木下　昭さん
（松ケ枝町自治会会長）

「水木しげるロード」が完成するので、自治会もロードを盛り上げてほしいと、市から相談がありました。私は、妖怪に暗いイメージを持っていたので、人々の心が和む、何か明るいことが必要だと考えていたところ、荒木さんと里見さんから音頭を作ろうと話がありました。お二人に作詞の担当をお願いし、大正町自治会も一緒になって鬼太郎音頭を制作。音頭で交流が深まりました。

「水木しげるロード」を盛り上げる人たち

今や、「水木しげるロード」は境港市の観光名所。毎日、全国から多くの見物客が訪れてきます。

愉快で楽しい妖怪たちが出迎えてくれる「水木しげるロード」。その誕生を喜び、愛し、盛り上げていこうとする大勢の人がいます。

「水木しげるロード」を歩きながら、そんな人々の声を拾ってみました。

鬼太郎グッズは好評ですよ



松下正雄さん（松下酒店）

「ここには、お茶を飲む所が無いね」と水木先生が言っておられましたが、確かに喫茶店など、休憩のできる所がありません。それにトイレも無い。訪れてきた人が、すぐに帰ってしまうのも、そのためなんでしょうね。

店には、市内で作られた各種鬼太郎グッズを取り揃えていますが、大好評ですよ。また、夏休み期間中には、記念撮影用の使い捨てカメラがよく売れました。

鬼太郎ハガキを作りました

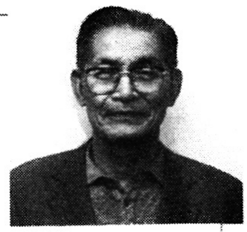


新田隼子さん（新田文具店）

山陰路観光キャンペーンの一環として、東京のデパートで鬼太郎音頭の踊りを披露しました。鬼太郎バッジを持って行ったところ、皆さんが欲しいと言うのであげましたら、大変喜ばれました。

市が発売した鬼太郎ハガキも売り切れ、ロードのパンフレットも無くなり、観光で来られた人にあげるものが何も無い。そこで娘が鬼太郎ハガキを作りました。記念になると喜ばれていますよ。

ゆっくり見物できる環境作りも必要



板倉博さん（境港商店街連合会会長）

除幕式から９月末までに「水木しげるロード」を訪れた人は約２万５千人。鬼太郎グッズも好評で、静かだった商店街に活気が戻ってきました。しかし、大部分の人が沿道に車を止め、記念撮影をして帰ってしまう。滞留時間は短く、20分程度です。これでは商店街の活性化につながりませんので、駐車場を確保しました。今後、ゆっくり見物できて、満足して帰ってもらえる環境作りも必要ですね。

著作権は地元のために

郷里境港市の活性化のために役立ててほしいと、水木しげるさんから著作権の委託を受けた市の観光協会は、鬼太郎や妖怪を使ったグッズの販売を認める「水木しげるロードシール」を作成。九月十日から申し込みを受け付け、著作権の管理運営をしています。

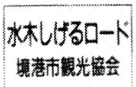
これは、鬼太郎などのキャラクター商品を作り販売したい場合、市の観光協会に小売価格の三パーセントを支払ってシールを購入し、商品に張れば販売が認められるというものです。商品は原則的に境港市内で製造、販売されるものに限られます。

シールは、商品の価格によって四種類に色分けされています。価格が五百円以下は白、千円以下は黄、三千円以下はピンク、三千円以上は青となっています。

なお、既に水木プロダクションのシールを張った商品については、このシールを購入する必要はありません。

また、市の観光協会に集められたシールの代金は、今後、基金として積み立てられ「水木しげるロード」に関係する諸経費に充てられる計画です。

水木しげるロードシール



鬼太郎ブームは課外授業の一助に

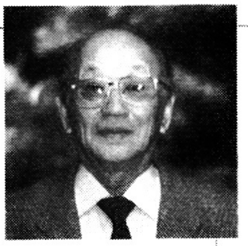


吉田光徳さん
（ＪＲ境港駅駅長）

ＪＲ境線に「鬼太郎列車」がお目見えし、園児や小学生に大人気。発車時刻の問い合わせが、多い日で10件はあります。小学生は自分で切符を買って汽車に乗り、「水木しげるロード」を写生して帰ります。鬼太郎ブームは、課外授業の一助にもなっているのですね。

夏休み中には、ずいぶんと道案内をさせられましたが、見学した人々から「来て良かったです」と言われ、うれしかったですね。

ロードの完成がとても楽しみ



岡空　晃さん
（大正町自治会会長）

来年には、大正町にも14体の妖怪のブロンズ像が設置されます。そして、公園も作られるとのこと。「水木しげるロード」は、松ケ枝町と大正町を結び、鬼太郎音頭は両町の交流を広げました。

商店街は鬼太郎人気で活気づき、鬼太郎に関係したいろいろな商品を販売しています。町の人々も創意工夫を凝らし、ロードを盛り上げようと頑張っています。ロードの完成が、とても楽しみです。

松ケ枝町の鬼太郎です



京久野勝之さん
（京久野履物店）

鬼太郎音頭と踊りが誕生したので、みんなで踊ろうということになりました。集まりの席で「お前、鬼太郎になれ」って町内の人に言われたのです。鬼太郎の顔は丸いでしょう。私も丸顔だという理由で、チャンチャンコを作ってもらい、ゲタも特注しました。今では、すっかり身についちゃって(笑)、松ケ枝町の鬼太郎です。

鬼太郎音頭は曲も乗りやすく、輪になって楽しく踊れますよ。

グッズの益金はロードの運営費に



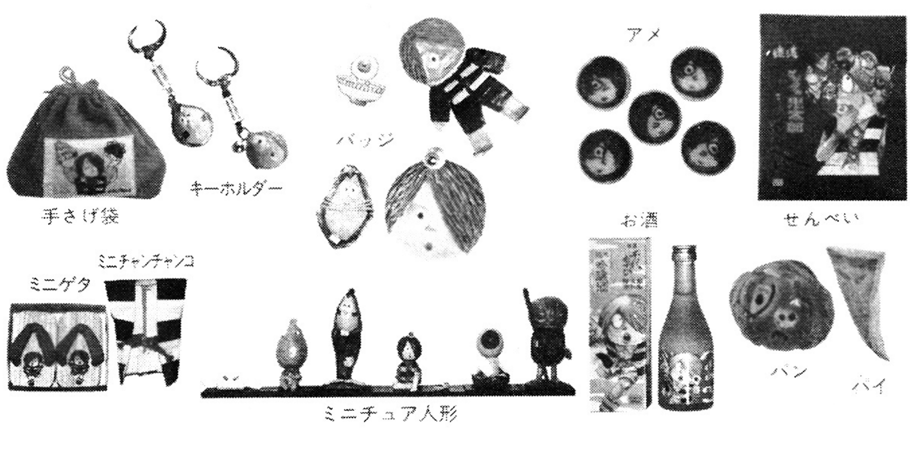


里見紀久子さん（松ケ枝町）荒木千重子さん

松ケ枝町音頭を作り、老人会で歌おうと二人で作詞したのがきっかけで、鬼太郎音頭の作詞を担当することになりました。いろいろと考えながら歌詞を二人でまとめ、曲を付けていただいて、鬼太郎音頭が完成しました。

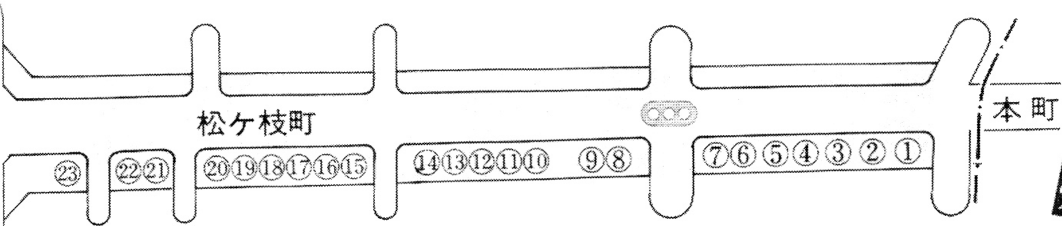
九月の初めごろから、私たちは紙粘土で鬼太郎などのバッジや人形を作り、店頭で販売してもらっています。その益金は市に寄付して、ロードの運営費に充ててもらうつもり。そんな私たちの活動に賛同して、近所で理髪店を経営する大道秀夫さんご夫婦や、大道さんの友達の作野辰雄さんは、作品を入れる箱や人形を乗せる台を作ってくれるのです。

鬼太郎グッズあれこれ



※このほかにも鬼太郎グッズは、まだまだたくさんあります。

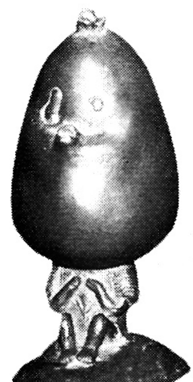
「水木しげるロード」の妖怪たち



1、カシャボ
2、油すまし
3、ねずみ男
4、うわん
5、石見の牛鬼
6、一反木綿
7、かみきり
8、小豆洗い
9、お歯黒べったり
10、すっぽんの幽霊
11、目玉おやじ
12、鬼太郎のゲタ
13、ゲゲゲの鬼太郎
14、雨ふり小僧
15、木の葉天狗
16、海坊主
17、毛羽毛現
18、川獺の化け物
19、足長手長
20、倉ぼっこ
21、白溶裔
22、川猿
23、やまびこ

1. カシャボ

カッパが冬になって山奥に入るとカシャボになり、ときどき民家にもやって来るといわれる。青い衣を着た六、七歳ぐらいの子供の姿をしている。



2. 油すまし

油を盗んだ人間の霊が化けたもので、すました顔つきをしていることから、こう呼ばれるようになったという。熊本県草隅越の山道に住んでいるといわれる。



3. ねずみ男

好奇心はとても強く、めずらしいことや怪奇なことが大好き。苦手なものは猫で、特にねこ娘は大の苦手。話術はたくみだが、なまけ者なので、鬼太郎親子から離れては生きていけない。



4. うわん

人が通ると、いきなり“うわん”と気味の悪い声を出して驚かせる。驚いて気を抜いた瞬間に、人の魂をとって食べる。



5. 石見の牛鬼

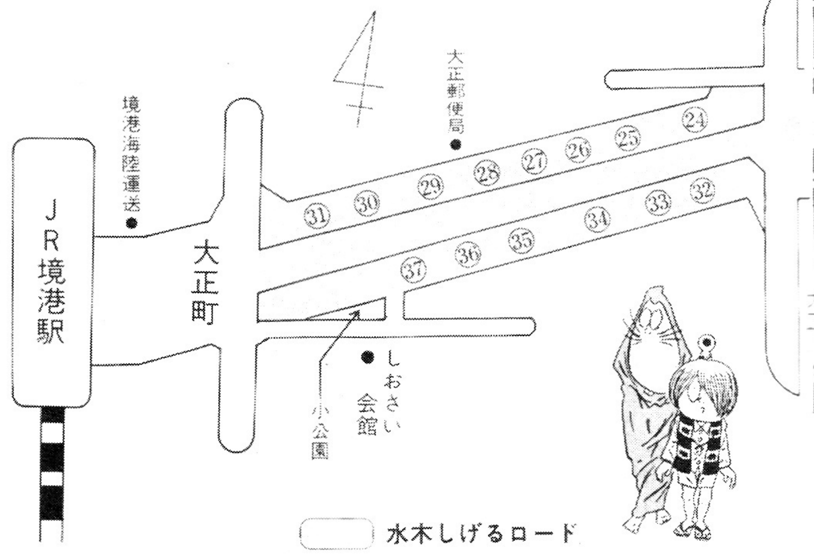
島根県に現れる牛のような角を持つ妖怪。切り立った崖下の深い海の底に住み、人を襲って漁師の家まで入ってくる。



来年お目見えする妖怪たち

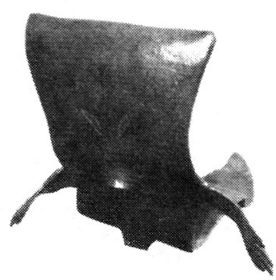
24、海女房
25、ねこ娘
26、河童
27、塗壁
28、朱の盆
29、泥田坊
30、砂かけ婆

31、家鳴り
32、百々目
33、小豆はかり
34、飛頭蛮
35、袖引き小僧
36、鉄そ
37、児啼爺



6. 一反木綿

鹿児島県大隅地方に現れたという妖怪。一反ほどの白い布で、夜間に飛来し、人の首に巻きついたり、顔面を覆ったりする。



7. かみきり

人が、獣や幽霊と結婚しようとすると、どこからともなく現れ人の髪を切るという妖怪。



8. 小豆洗い

川や谷などでショキショキと小豆を研ぐような音をさせるが、近づいても姿は見えない。



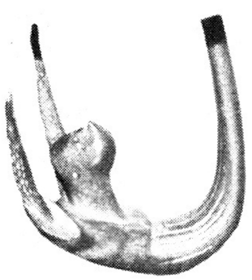
9. お歯黒べったり

美しい着物を着たのっぺらぼうの女の妖怪。白い顔の下がぱっくりと割れ、お歯黒をつけた歯でニタニタと笑う。町はずれの人気のない神社や寺に現れる。



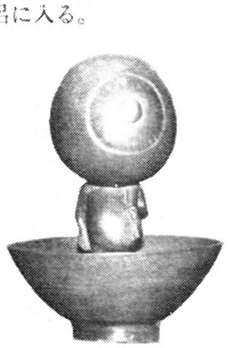
10. すっぽんの幽霊

池や沼に住む妖怪。すっぽんをあまりたくさん食べると、幽霊になって出るという。



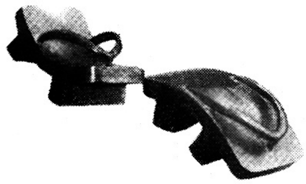
11. 目玉おやじ

鬼太郎のお父さん。朝風呂が大好きなので、毎朝茶わんのお風呂に入る。



12. 鬼太郎のゲタ

何にでも吸いつく力を持っていて、壁はもちろん天井を逆さに歩くこともできる。リモコンゲタともいい、独立して鬼太郎を助ける。



13. ゲゲゲの鬼太郎

超能力があり、持ち前の正義感で悪い妖怪を退治する。学生服の上には“幽霊族”の霊毛でつくられたチャンチャンコを着て、リモコンゲタを履いている。



14. 雨ふり小僧

雨を降らせる神様の「雨師」につかえている子供の妖怪。雨が降ると、野原に出てきて、喜んで雨の中をかけまわる。妖怪というよりも神様に近い存在。



15. 木葉天狗

昔は日本の山や野の神で、怪力を持ち、何にでも自由に姿を変えることができる妖怪。



16. 海坊主

海上に出現する黒くて巨大な妖怪で、機嫌を損ねると船をひっくりかえされてしまう。目が光るものや目も口も鼻もないものもいる。



妖怪について



水木しげるさん

最近、“生まれ代わり”などというのどかな言葉をしばしば耳にするが、ぼくは、“生まれ代わり”は大好きだ。

というのは、ぼくは何故か“妖怪”にひどく興味をもつ子供だった。それはおそらく、前世がひどい“妖怪好き”だったためだろう。ひょっとしたら、“妖怪”だったのかもしれない。

その後、半信半疑のまま四十年ほど過ぎたが、それでも、どうしたわけか“妖怪採集”だけはやめなかった。これは、子供が“昆虫採集”をして喜ぶのと同じだ。ただ、普通でないのは、そういうバカな(?)ことを、とうとう六十年以上つづけたということだろう。

……世界には“目に見えないもの”が沢山いるが、それを、まがりなりにも“見せる”ことによって、皆さんにいろいろなことを感じてもらい、「なんだこんなものがいるのか」といったぐあいに世の中が楽しくなれば、こんなに喜ばしいことはない。

水木しげる著「続妖怪画談」岩波新書より

17. 毛羽毛現

いたずら好きで、人間の元気をなくしたり病気にしたりする。日当たりの悪い中庭などに、人のいないときに出現する。



19. 足長手長



足長国の足長人は、常に手長国の手長人を背負い海で魚をとる。それぞれの足と手の長さは約六メートル。足長手長が現れると、必ず天気が変わるという。

21. 白溶裔



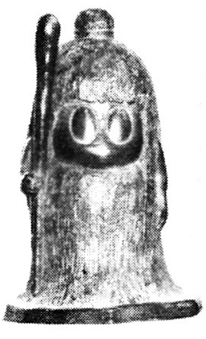
台所に古いぞうきんなどをほったらかしにしておくと、白溶裔という妖怪になる。夜に飛行し、人の口にまつわりついて不潔なにおいと感触で気を失わせる。

18. 川獺の化け物



年取ったカワウソの妖怪。笠をかぶったきれいな女に化けて人をたぶらかす。笠をとると六、七十歳の老女で、両目は光り、すさまじい顔。

20. 倉ぼっこ



火事になったとき、見慣れぬ女が出て来て荷物を倉へ入れてくれる。古い倉に住む妖怪で、髪が長く垂れて顔は見えない。防火の神としてまつられている。

22. 川猿



時に子供の姿となり、人を化かすことがある。体中に魚の臭気があり、おく病な性質だが、自分を助けてくれた人の顔だけは忘れないという。

23. やまびこ



山で声を出すと、同じような声が帰ってくる。場所によっては呼子ともいわれ、山々や谷にこだましながら飛び歩く、一本足のいたずら妖怪。

▶「大かむろが攻めてきた」

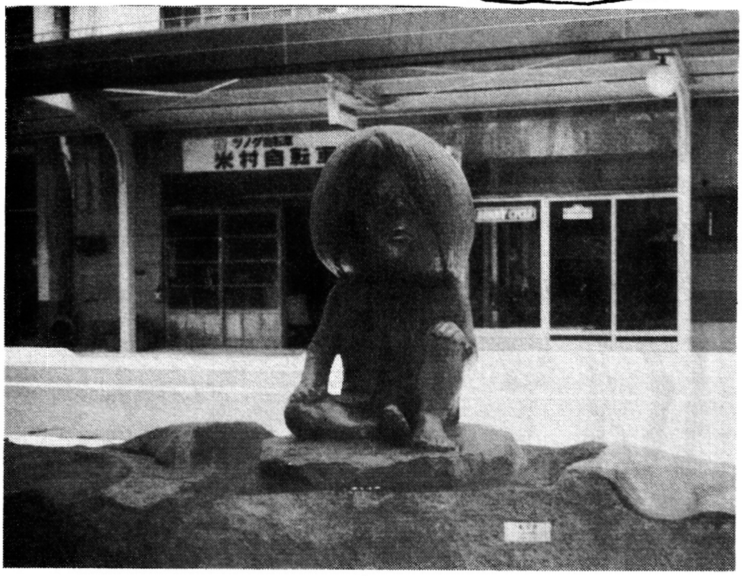


現代の神秘！ロシア人もビックリ!!

山陰の港町に妖怪は実在した!!

油ダイモンの『水木しげるロード』レポート





去る昨年の九月二日、私は念願の「水木しげるロード」に文無し旅行と洒落込んで仕事を有給にして行った。

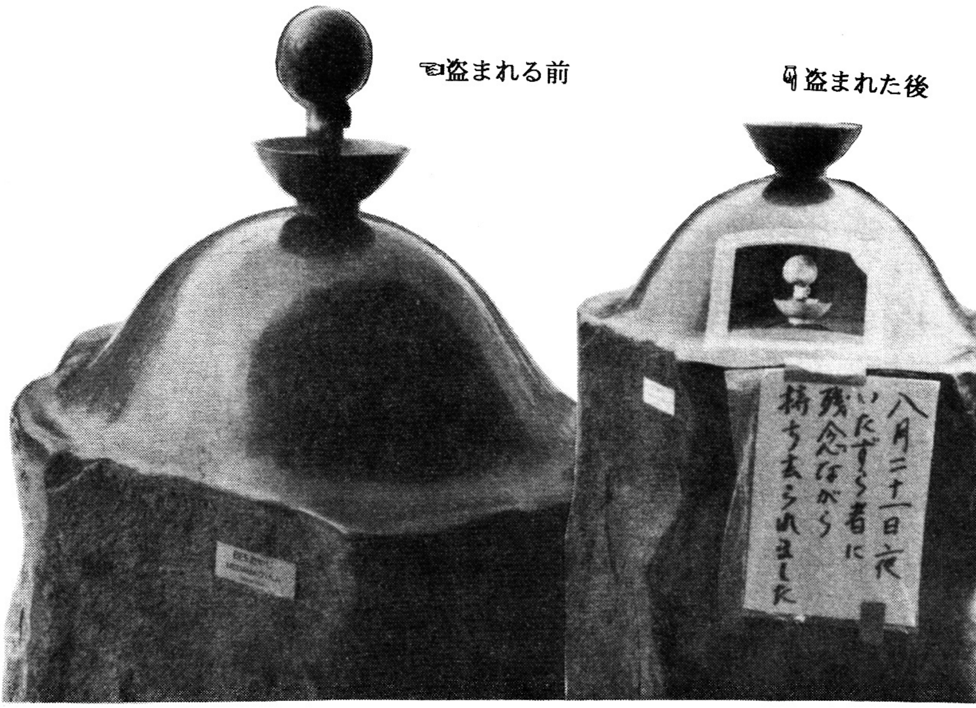
ワイの名は油ダイモン。父はバビロニア人、母は内緒で極一部の読者（といっても、会長だけ）は知っている。よろしゅうに。

ワイが着いたのは朝の十時頃の境港駅や。誰も歩いてへん。目当ての妖怪はんも見えへん。まぁええ、とりあえず歩いてみよ。ホンマ静かな所ジョージ、真昼の情事、村上ショージ、障子には目々連。時折、タクシーが来るだけで人なんか歩いてへん。まぁラッシュは終わっている時刻や、かかしぃ。そうそう、それをいうならおかしいや、と一人でボケて一人で突っ込む。悲しい。

悲しんどると、「なにをそんなに悲しんでいるんだい」という風に聞き慣れた音がするではないか!! 我々取材班はその音の方へと突き進んだ。ジリジリと照りつける夏の陽射し、その照りつける日射しの下で我々が観た物は…

『現代の神秘！ロシア人もビックリ！山陰の港町に妖怪は実在した!!』

（田中信夫風に絶叫）



☜盗まれる前　☟盗まれた後

と、叫んでみたものの、ワイ一人だけや。
頭の中は「クモの館は火事ですぞ」状態。でも、でもや、運賃値上げや、そのデモとちがう。ここでロードのレポートしても他の本やTVの真似になる。そうや、ワイにしかできんレポートしたろやないけ、「黒目の太陽」や「妖怪残酷物語」を抜くドキュメンタリーを皆はんにみせたるで。
　まずワイはひととおりみてまわった。各ブロンズ像は精巧にできとる。その一つ一つにあいさつや。
　おっ、なんや、この茶わんは？なんか張り紙がしてある、うん、うん、なっ、なんやて、パチられよったんか、誰や誰がこんなエグい事しよんねん。こんな事、許されてえのんか。こっちでは「うわん」や「一反木綿」もや。一体誰が…。しかし、「茶わん」にしろ「うわん」にしろ「わん」がつくのを破壊しとる、相当腕力のある奴の仕業や。
「目玉親父は私らも見てる者はあまりいないんです。本当ヒドイ事しますわ」
と、店先で仕事しとったオバチャンが言うとった。なにもこのオバチャンはこのレポートに迫力をつける為に登場しとんと違うんやで、町起しが、これからやいう時に…けど、オバチャンはこうも言うとった。「でも、つぶされた妖怪さん達は、近いうちに復活するんで

すよ」なんか、こう力強さが表れとったワ。まるで「尾形、我々の勝利だ」と力強く断言した芹沢博士の様な感じや、心の中で伊福部マーチや、しかし、これが最後の犯罪やない。これから先、妖怪のブロンズ像が増える事によって第二、第三の犯罪が起きるだろう、とワイの心の中は山根博士状態になった。（今は破壊された妖怪達は復元され、元の台座に鎮座ましているそうです）

カメラをかって（ギャオスは付いていない）鬼太郎やネズミ男と写真を撮ってもう一度ゆっくりとみようと思ったけど、ワイ一人旅やからカメラ（バイラスは付いていない。もうええは）のシャッター（青い宇宙刑事。それはシャイダー）を押してもらおうと辺りを見回したけど誰もおらん。すると話し声がする。「出たな妖怪」と声にはださんかったけど、またまたオバチャンの姿がこのワイの寝ボケ目に写った。オバチャンにお願いすると快くシャッターを押してくれた。このオバチャンも又、レポートに迫力を出す為に登場してるんやない。その事だけは、頭に入れとってや。オバチャン！写真、写ってましたで、ホンマにおおきに。ありがとさん。恩に切りまっさ。

造形的には、どれもよう出来てる、水木先生の書く妖怪画そのモノや。唯、鬼太郎やけど、あの丸い顔は難しいと思う。某○東の鬼太郎より出来は上やけど、なんか、今一つというのが、ワイの感想や、でも、１分の１のネズミ男は迫力おまっせ、ホンマにおったら、あんな感じやろな、ワイは妖界の尊敬するネズミ男先生と握手してもろた。サマーイベントの某遊園地と違って直に触れるのがええとこや。しかし、破壊や窃盗はアカン。ファンの良識を問われるし、水木先生を悲しませるだけや、それに妖怪という存在が認知されつ

ここに『うわん』が
有ったはずなのだ

最も出来が良いと
評判のねずみ男



つある時や、一番重要な時や、もっと色んな人にも知ってもらおうやないか、出来のいい造形物やワイかて欲しい。その気持ち水木ファンやったら誰かて解る。でもそれを所有してるからいうて、それがホンマの水木ファンやちゅう事ではないんやで、今からでも遅そうない。元に戻してくれ、たのむわ。

造形物の事はこれぐらいにして、この「水木ロード」の店先をみてまわる。あるわあるわ、宝の山が、でもワイのフトコロは全てこうて帰る事はできん。その種類の多さには目を見はるもんがある。しかし、ところどころにはってある「みずきロード・マップ」や「鬼太郎カード」ちゅもんはどこで手に入れる事が出来るんや。そうや市役所や、役人に聞くのが一番や。このアイディア ヴェウィリーでしょとクボタ事務局長風に心の中でつぶやいて、すぐ側の境港商店会に行き、「KITARO CARD」をまずは手に入れた。そこで市役所の場所を聞き、ワイは天狗のおっちゃんの強力で市役所までいったんや。(天狗ちゅうてもワイの足の事や)

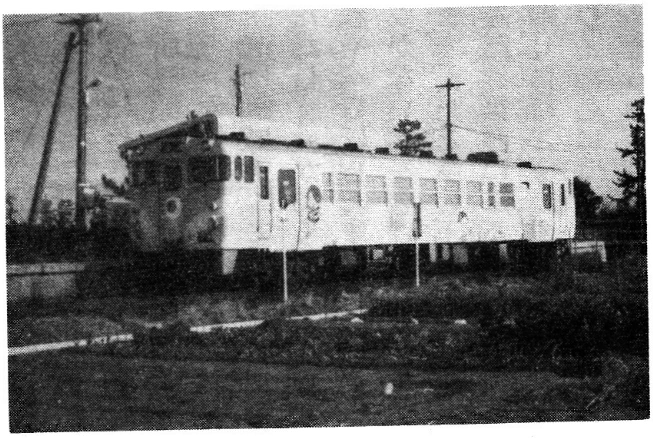
市役所に入って受け付けのお姉さんに事情を話す。忙しそうに慌ただしく人が動く。電話がなる。ワイはフルハシ隊員のお母さん状態や。しばらくすると受け付けのお姉さんが戻ってきてワイにマップがない事を告げる。ワイは諦めきれずに「どこへいったらもらえますか」と喰い下がった。するとお姉さんは他の人に聞いてそれが道路建築課にある事がわかった。礼をいうてワイはそこへマップを取りに行こうとすると、お姉さんが行ってくれるちゅうやないか。ワイの心はラッキーストライクや。

そういえば水木先生も一度お会いした時、笑顔を絶やさず我々と話しをして下さった。このお姉さんは忙しいのに役人にある横柄な

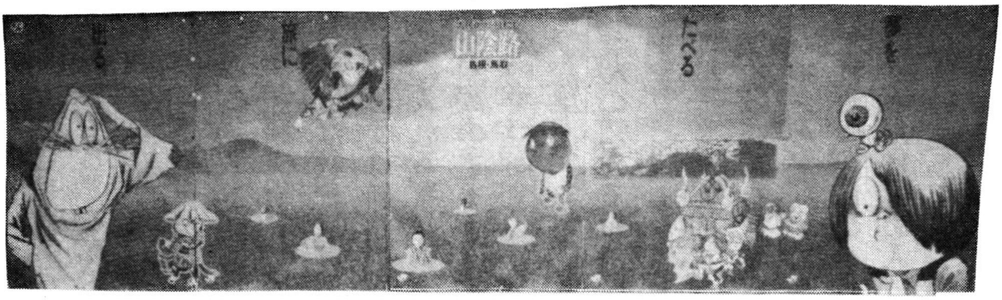


☞水木しげるロード内にあるしゃれたお店。「うちわ」「Tシャツ」等が売っている。

これが幽霊電車ならぬ
妖怪列車……　☞



ＪＲ提供、恐怖の５枚つづり
大ポスター。'94サマーイベント
のオークションに出品との噂だ！



態度を示さず、自分の手を止めてマップを取りに行ってくれた。境港の町を活気付けようとしているのが、ワイにも理解できた。ただ単に観光収入の目的だけではないんや、どっかの団体とは違う。その中には我がサークル偉大な漫画家スーパーアクション野郎の武内タケシ氏も、最初のサマーイベント時からこのロードの宣伝をしとった。

そんな事を思い出しながら、マップを受け取り市役所を後にした。帰り道、個人的趣味でM車のラ○テ○スとR○－7のカタログをもらった。（2車とも厚口。○X－○は○Pカタログまで付いとった。デーモンさん、○の中に字を入れてね）

ワイは最後や思てロードと店をみてまわった。電気店にはブロンズ像のミニチュアまで飾とった。一つくれまへんか。至るところに特設の掲示板がある。この辺の子どもさん等が描いた鬼太郎一家の絵や、どれもホオジロザメの上アゴや。（しょーもないな、このフレーズ）

なんか名残惜しいけど、駅に行って列車を待つ。ふと目をやると「妖怪列車」の告知がある。なんで「幽霊電車」にせんかったんやろ。そんな事を思っとたら今夜も又、眠れなくなっちゃう、と三球照代風に一人でボケていたら、列車がホームについた。でもJRを巻き込んでのこの町起こしにワイは心から拍手を贈るで。

列車が動きだした。「幽霊電車」にせんかった理由が解った。この列車はディーゼルカーやったんや。漫画の中にある表現はこのエンジン音を聞いとったらとうてい無理や、うん、それだけや。

海辺の線路をレールを軋しませて列車は走る。でも来てよかった。妖怪と触れ、町に活気を呼ぼうとして一生懸命になっとる人や仕事





☜ロードにはめ込まれたパネルの１枚。
キリストの絵は踏めても、これは踏めまい。



☜電話ＢＯＸが“鬼太郎の家”なら
ポストは妖怪ポストにして欲しい。

の手を止めて身も知らんこんな若輩者の相手を嫌な顔せんとしてくれた人々と触れる事ができた。今度は水伝の仲間と来よう。そして、一寸でも手助けが出来たらいいなと、ワイには不似合いなマロンチック、もといロマンチックな気持ちになった。

明日からは仕事。そう思うとどっと疲れが出てきた。列車は走る……

どうや、ワイのレポート。ちょっと目茶苦茶やけど、ワイは又、行きたい。オチがつかんかったけど、この油ダイモン、又、どこかでお会いすると思うけど、それまで忘れんといてや。それから、イベント企画部長はんから、サマーイベントのネタもまだ募集しとるちゅう事やから、ベリーなアイディアがあったらヨロシクとの事や。

ホンダラスーダラこの辺で　（ボワ～ンと消える）

水木しげるＦＣからのお知らせ！

『水木しげるロード・レポート』の文中において、頻繁に登場する『サマーイベント』とは何なのか？『水木しげる公認ＦＣ・水木伝説』の会員の皆様なら御存知のはずだが、会員以外の読者の方々は、？？？　であろう。

これは是非とも知っておいてもらいたい。説明しよう。それは、ＦＣ恒例行事の一つで、ＦＣ活動最大にして最強のイベントの名称なのだ。これくらいの説明じゃまだまだわからないだろう。兎に角、毎年７月の第３土日。ＦＣ地元の神戸にて、全国に居られる会員たちが集結、水木談義に花を咲かせるのだ。

過去３回のうち２回は水木先生との交友会が開かれ話題を呼んだ。水木しげる先生と逢えるんだ、逢えるんだぜ。地元新聞に紹介された事もあったのだ。その他にも水木伝説オリジナル商品（Ｔシャツ、シール、便箋等）の販売、宝塚ファミリーランド恒例鬼太郎イベント見学、水木先生のサイン会、水・伝スタッフによるレクレーション（水木関連商品のオークション、肝試し、ビデオ上映等）等水木ファンには堪えられない盛り沢山な内容で参加費も格安なのだ。（宿泊、食事付き）

過去３回で常連の参加者も増え、水木ファンの輪を広げている。周りに同じ水木しげるファンがいない。水木作品に対する想いを他の誰かに伝えたい。ストレスが溜り発散させたい。そんな貴方たちには是非とも参加していただきたい。

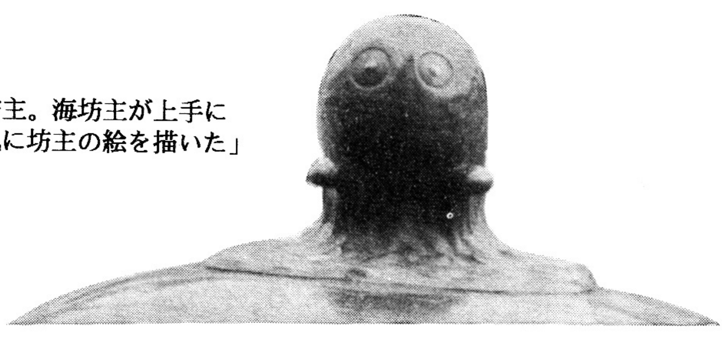
興味を持たれた方は８０円切手を同封の上下記住所まで…
おっと現会員の方は毎年６月頃に案内書が送られて来るので御心配なく。

仲間を作ろ〜う。

………水木しげるＦＣ入会及びサマーイベントのお問い合わせ………

〒６５４－０１
兵庫県神戸市須磨区北落合３丁目３８番地２１７号棟７０９号室
馬場方　水木しげるＦＣ・水木伝説

「私、海坊主。海坊主が上手に
屏風に坊主の絵を描いた」



新聞・雑誌記事に見る



水木しげるロード～ドキュメント 第一章

♪何でもないような事が…… なんでやねん

↙地元紙『日本海新聞』では、鬼太郎一家がお正月を飾る。（次ページも）



(25) 1994年(平成6年)1月3日 月曜日 日本海新聞

鬼太郎に会えるまち

コミック

境港市が昨年度を「文化元年」と位置付けて、緑と文化のまちづくりに取り組んで今年で六年目、その"目玉"として昨年、同市松ケ枝町に「水木しげるロード」がオープンした。

境港市出身の漫画家・水木しげるさんの全面的な協力で、さびれた駅前通りが見事に妖怪（ようかい）ロードとしてよみがえった。

今年はロードをさらに「百㍍延長してね」と、砂かけ婆などの妖怪のブロンズ像十七体を設置する予定で、すでに完成している部分と合わせて四百四十㍍の水木しげるロードが完成する。

水木しげるロードは、境港市が「市民や観光客に親しまれる道路を」と、水木漫画をまちづくりに取り入れようというアイデアを道路整備に取り入れて成功した。

拡幅した道路の歩道にモニュメント製作を手がける松江市矢田の「オブジェ」が製作したゲゲゲの鬼太郎、ねずみ男、目玉親父などの水木漫画でおなじみの妖怪像（ブロンズ、台座御影石）を設置したところ、妖怪の人気は急上昇。

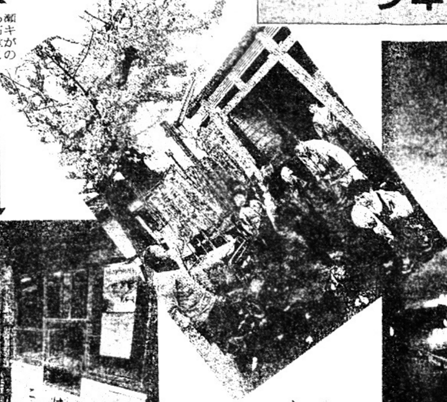
昨年七月のオープン以来、水木ロードを訪れる人は後を絶たず、せんべい、バッジ、酒、テレホンカードなどの鬼太郎グッズも登場して、地元では「これまでに数万人の観光客が訪れまちがよみがえった」と、鬼太郎様々といったところ。

境港市では、JR境港駅前に水木しげる記念館の建設を計画している。いずれにしても、整備は始まったばかりで、水木ロードの話題はここしばらく尽きることがない。

水木漫画の原点は境港

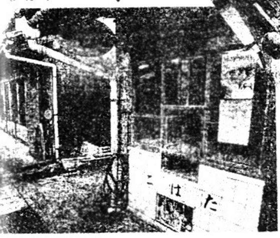
少年時代を過ごす

水木しげるさんが少年時代を過ごした境港市入船町は、弓浜半島の突端、漁船が行き来する境水道に面し、島根半島の高尾山が間近に迫る。ここで水木少年はガキ大将として君臨し、近くに住む不思議な「のんのんばあ」の案内で、妖（よう）怪たちが住む異界に足を踏み入れた。水木さんの描く漫画の世界には、この辺りの風景が色濃く反映されている。水木しげるロードをきっかけに、水木漫画の原風景を求めて境港にやってくるファンも増えている。今なおお残るゆかりの地を訪ね、そこに妖怪の気配を感じる。水木ロードを十倍楽しんではいかがでしょうか。



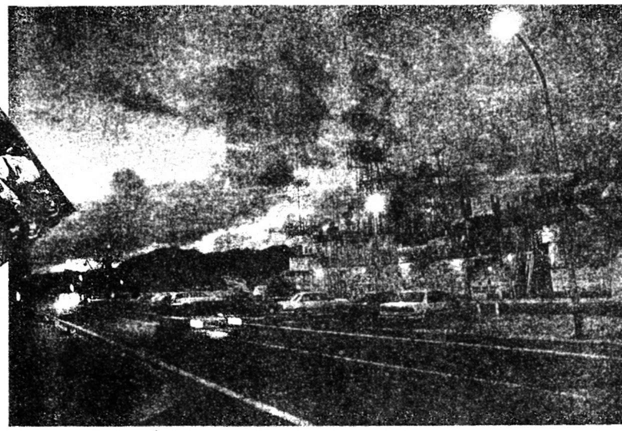
稲荷神社

…んの生家近くにある稲荷神社。鳥居の奥には石キ…社の隣には阿弥陀堂が…「のんのんばあ」はこの…んでいた、という。



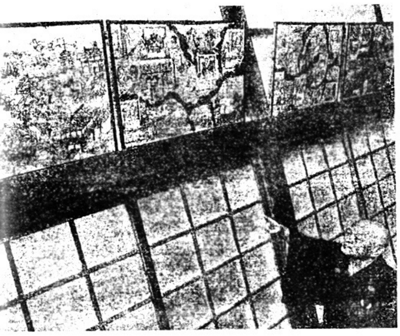
花町界隈

終戦直前の軍用船爆発事件で、戦後、港町の街並みは様変わりした。この辺り



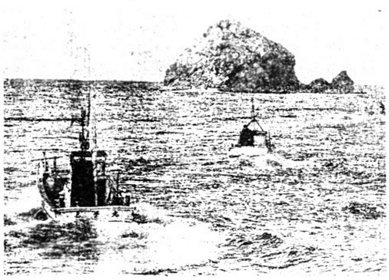
海岸通り

境水道に面した海岸通り。「逢魔が時」の薄暗いなか、怪しげな雲が空を覆う。水木少年は学校帰り、めずらしい船を見つけてはせっせと写生に励んだ。



地獄極楽絵図

境港市中野町、正福寺の本堂にある。四枚一組で、死後の世界が描かれている。水木少年が、この絵から受けた衝撃は大きく、妖怪を探求するきっかけになった。



諸喰（もろくい）海岸

島根県美保関町の諸喰。水木少年は「のんのんばあ」に連れられこの村を訪れた。島根半島を南北に横断すると村が開け、日本海に浮かぶ奇妙な形の島が目に入る。

水木しげるさんインタビュー

目に見えぬ所に別の世界 ふと気配感じることも 世界の妖怪 境港に集めたい

東京都調布市の水木プロ事務所に水木しげるさん(71)を訪ねた。応接室の入り口には、張り紙が1枚。「面談、30分以内」。おそらく苦手なマスコミのインタビュー攻撃や長居客の撃退法なのだろう。自転車で近くのプールへ行くのが日課。一泳ぎして帰宅した水木さんに〝30分以内〟で話を伺った。

キツネにばかされる

―妖（よう）怪との出会いは。

三つ四つのころ、近所にいた「のんのんばあ」っていうおばあさんから、いろんな妖怪の話を聞いたんです。巫女（みこ）のようなおばあさんで、まあ、私の妖怪の先生ですな。よく家に出入りしていて、一緒に寝ながら「近くの川に河童（かっぱ）や小豆洗いがいる」「キツネにばかされる」とか、いろんな話を聞いた。

妖怪に出くわしたこともある。ある時、ギャオギャオと声が聞こえた。カモメかな？カモメじゃない。カエルかな？カエルじゃない、何だろう。どっからそんな声が聞こえてくるのか、声のする方に行ってみる。何にもない。正体がつかめない。でも、目には見えないけど存在感があるんですね。そこで「のんのんばあ」に尋ねるんです。妖怪なんですな。

神秘に興味を持つ子どもだったので、ほかの兄弟よりも特にかわいがってもらったようです。それ以来、私の心の中には妖怪が住みついているんですわ。

怖いけど不思議

―妖怪って怖くないですか。

怖いですよ。怖いけど、不思議でしょ。不思議がいいんですよ。実際に妖怪に遭遇する。それでビックリして探索するわけです。人間の目には見えないけど、ふっと気配を感じることがある。いるんですよ、妖怪が。人間の目に見えん所に別の世界があると子供心に感じていました。

でも気付かない人、分からない人が大半です。子どももと年寄りは気付くんですが、中間はいけない。メシを食うことに追われているから、分からんですわ。

生まれた時はいらん知識が入ってないですからね、妖怪が存在しないなんて考えもない。だから不思議な気配を受け入れるわけですわ。不思議がったり、怖がったり。

それが小学校に入ると「妖怪なんてこの世にいない」なんて常識的なことを教え込まれるから、おかしくなる。そして年を取ると、身の回りで起こる不思議な存在にまた気付くんですわ。

妖怪は空想の世界じゃないです。妖怪の存在に気付かんということは、日常のことばっかりに捕らわれて、心の余裕がないから。ゆったりと生きておらん。人間として貧しいですな。

科学的に立証されていないものは否定する方が文化が発達しているように思われがち。否定するのは間違いですわ。「いるものはいる」でちゃんと認めんと。目に見えないからいないのではなく、いるんです。気付かないだけなんですね。

最近になって少しは霊に対する関心が持たれるようになってきたけど、まだまだ日本の文化、いや世界の文化が遅れているわけですわ。「妖怪や妖精なんていない」という否定文化。だから私は、昔は認められておった妖怪文化を復活させようと一生懸命です。書き物や漫画を通して、見えんものを見せることですな。私がしておることは。

妖怪、妖精比べた辞典

―日本の妖怪も外国の妖精も同じものなのですか。

同じなんですよ、同じなんですよ。妖精は昔は、イギリスでは小さな少女で美しいというイメージで、たくさんの絵が書かれている。国の民族や習慣によって形は違うけど、同じ霊。子どもやカッパなど妖怪も妖精も似たものもある。

あのね、実は私は妖怪と妖精の比較辞典を出そうと思っている。以前から考えてはいるけど、忙しすぎてなかなか進んでいないが。

日本だけでもこれまで六百種類の妖怪を採集した。世界には約千種類の妖怪、妖精の基本形がある。それぞれの国の妖怪、妖精を比較してみたい。

―水木ロードの妖怪たちは大人気ですね。

よくできていますよ。直接、妖怪に触ることができるのがいい。実にいい。妖怪が町の人たちの身近な存在になる。記念館を建てようという話もある。いいですね。私は、日本中の、いや世界の妖怪を境港に集めたいですね。ハハハハ…。



（おそ）

わたしの好きな妖怪

ゲゲゲの鬼太郎



境港市日ノ出町、境小3年、島谷一憲君(9)・同市東雲町、同、早村明生君(9)

たくさんの妖（よう）怪がいるけど、やっぱり鬼太郎が大好きです。げたや髪の毛を飛ばして悪い妖怪をやっつける鬼太郎は、僕らのヒーローです。

ねずみ男



境港市外江町、会社員、竹内正樹さん(23)

会社の前にいるんで、どうしても気になっちゃいますね。意地汚いくせに憎めない、そんなねずみ男が好きです。なんとなく私に似てると思いませんか。

一反木綿



境港市松ケ江町、境高二年、松下亜兼さん(一七)

家がすぐ近くなんで毎日見ています。のっぺりした感じがかわいくて、好感が持てますね。近所にこんな観光名所ができて、とてもうれしいです。

海坊主



…勇さん(三〇)、妻・成実さん(二六)、長女・唯ちゃん(三つ)

この子（唯ちゃん）が好きなんです。ほかの妖怪は怖がって見向きもしないのに、海坊主だけは別。かわいいところが気に入ってるんでしょうね。

倉ぼっこ



境港市松ケ枝町、「鬼太郎茶屋」、荒木千恵子さん(七〇)、里見紀久子さん(六七)

私たちの茶屋の前にいます。商売繁盛もこの妖怪のおかげかしら。水木先生も「これはいい妖怪だ」とおっしゃってました。愛きょうがあってかわいいでしょう。

Ｉ妖怪ブロンズ像完成！話題はここから始まった



チョキチョキショキ書記

『水木しげるロード』の構想は随分前からだと聞いているが、新聞、雑誌などが取り上げだしたのは妖怪のブロンズ像が完成してからだ。本当にロシア人もビックリしたそうだ。

☜平成５年７月８日　新大阪



「お賽銭なんて…私『牛鬼』神様じゃないよ」



商店街に出現した「ねずみ男」のブロンズ像＝鳥取県境港市

鬼太郎ら化け物群像

鳥取の商店街　入港の露船員ビックリ

鳥取県境港市の商店街歩道に六日、「鬼太郎」「ねずみ男」などの化け物群像が登場。子供たちはそっと触っては大喜びだが、境港に入港し、町を散策するロシアの船員らは目をパチクリ。

同市出身の漫画家水木しげるさんの作品で商店街振興を、と市が五千万円で三十七体のブロンズ像を発注。ＪＲ境港駅前近くから松ケ枝町までの歩道四百四十㍍に据え付けた。名付けて水木しげるロード。

「鬼太郎」と「ねずみ男」は等身大で、あとは十五―三十㌢の像。地元自治会は「鬼太郎音頭」をつくり、十八日の除幕式で踊りを披露する。同市は「お化けのパワーを商店街の活性化につなげたい」と期待している。

☜平成５年７月７日　ディリースポーツ

WORLD電紙台

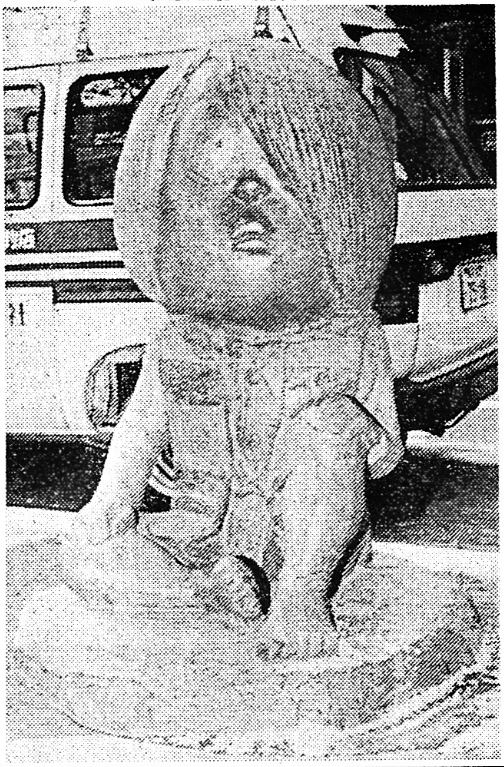


境港　水木しげるロード

鳥取県境港市の商店街歩道に６日、「鬼太郎」「ねずみ男」などの化け物群像が登場、子供たちはそっと触っては大喜び＝写真。同市出身の漫画家水木しげるさんの作品で商店街振興に市が5000万円をかけて発注。「水木しげるロード」と名付けられ18日に除幕式。

妖怪たちが待ってるよ

鳥取・境港市「水木しげるロード」

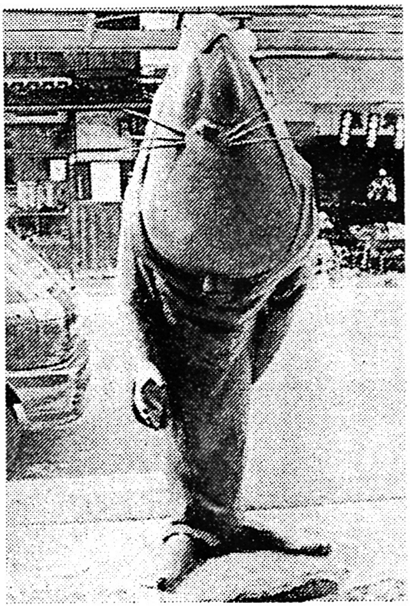


【ゲゲゲの鬼太郎】

みんな、ボクたちに会いにきてよ――。

毎小の「日本の妖怪たち」でおなじみの水木しげる先生の故郷、

市道に37体のブロンズ像



【ねずみ男】

鳥取県境港市に「ゲゲゲの鬼太郎」「ねずみ男」「一反木綿」など水木妖怪の人気者たちのブロンズ像がお目見え、話題になっています。名づけて「水木しげるロード」。先生の作品が、ブロンズ像になったのは、初めてです。

商店街に活気を取りもどそうと、同市の観光課が水木先生に相談、実現したものです。JR境港駅近くから松ケ枝町までの市道四百四十メートルに、三十七体のブロンズ像をならべる計画で、現在二十三体が設置されました。

あぐらをかいた「ゲゲゲの鬼太郎」（高さ一メートル）と「ねずみ男」（一六〇センチ）のほかは、一五～三〇センチの像。商店街では「鬼太郎音頭」をつくるなど、町おこしの最中で、十八日のテープカットには水木先生も出席しました。

水木先生は「妖怪が形になって、身近な所で見られるのはうれしい。」と、大喜びです。

同市も「観光の目玉にしたい。これまでは、隠岐への通過点にすぎなかったが、みんなが足をとめてくれるのでは。」と、妖怪パワーに期待しています。

平成5年7月19日　毎日小学生新聞

「けっこう毛だらけ全身
毛だらけ、あそこも　毛
だらけ、それは3億年以
上も生きてるからよ」



LOCK-ON

夏の定番といえば怪談話。お化けの話でキャアキャアと盛り上がれば真夏の夜の蒸し暑さも吹っ飛ぶというもの。

鬼太郎、ねずみ男がオラが町にやって来た！

鳥取県境港市の商店街に突如、妖怪が出現!?



▶鬼太郎像の隣でご満悦の松ケ枝町自治会長・木下昭さん。ねずみ男、目玉おやじ、こなきじじいなど鬼太郎ファミリー総出演だ



それならこの夏、いっそこのお化けの力を借りて町おこしをやろうという大胆な自治体が現れた。それが鳥取県境港市だ。

なにはともあれ、まずは真偽のほどを確認しようと、市役所に電話してみた。

「あの〜、お化けで町おこしをやるって聞いたんですが…」

すると、市側からはややあわてた口調で次のような答えが返ってきた。

「いやいや、違います。お化けではなくて妖怪、妖怪です」（都市計画課・黒目友則さん）

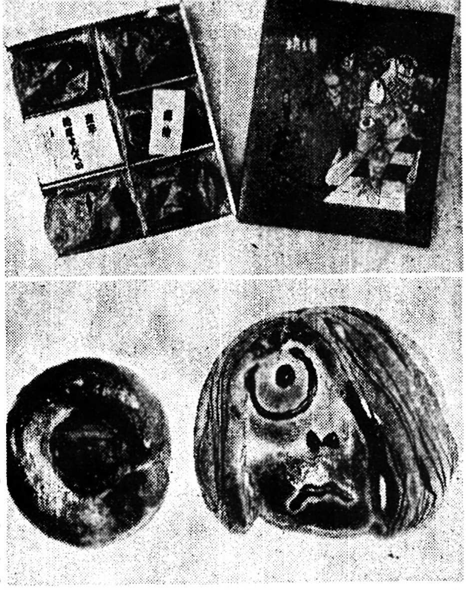
それもただの妖怪ではない。日本一の妖怪マンガ家、あの水木しげる氏が生み出した、ご存知、鬼太郎ファミリーを利用しようというのだ。

「当市では平成元年から緑と文化の街づくりという事業をやってましてね。そのひとつにコミュニティ道路を作る計画があったんですが、どうせならおもしろいものをと思いまして。それで、境港市出身である水木さんのマンガのキャラクターを使おうということになったんです」（黒目さん）

しかし、このアイデア、すんなりとは市民に受け入れられなかった。

「お化け？　とんでもない。そんなん作ったら、ただでさえ人が少ないのによけい人が来んようになる」





神戸ベーカリーの鬼太郎パンと目玉おやじパン、赤石商店から発売されたゲゲゲの鬼太郎せんべい

という声が圧倒的だったからだ。

しかし、漁獲高日本一の漁港として有名とはいえ、境港市の人口はわずか3万8千人。大きな産業や観光スポットもなく、過疎は進むばかり。

このまま手をこまねいているよりはと、市はついに〝妖怪街づくり〟に踏み切った。

そして完成したのが、その名も「水木ロード」。JR境港駅から松ケ枝町までの全長440㍍の歩道に23体の妖怪ブロンズ像がお目見得したのだ。総予算は2億5千万円。ブロンズ像だけで5千万円もかかったという。

その出来栄えだが、これがなかなかのもの。高さ1.3㍍の鬼太郎像、1.6㍍のねずみ男像、9.9㌢の目玉おやじ像など、いずれもかなりリアルに仕上がっている。さすがは水木氏自らが何度も指示をして作り直したというだけのことはある。

松ケ枝町の自治会長・木下昭さんも、

「最初はちょっと心配しとったけど、なかなかいいですね。この水木ロードを中心に町おこしをしたい」

と怪気炎を上げる。

その第1弾が同町会のメンバーが作った『鬼太郎音頭』という曲。これで妖怪踊りを流行(はや)らせようという魂胆か？

さらに、水木ロードを観光し、『鬼太郎音頭』のビートで踊りまくったからには、ぜひともお土産が欲しくなるのが人情だ。そんなニーズに応えようと売り出されたのが〝ゲゲゲの鬼太郎せんべい〟だ。

「手焼きの卵せんべいに妖怪たちの顔を焼き入れてあるんです。そのほかに、唐辛子入り地獄せんべいや魔除けもおまけについてて800円。境港にはお土産菓子がないんで、ぜひこれを名物にしたいですね」

と、発売元である赤石商店の赤石有平さんが意気込む。

こうなるとほかも負けてはいられない。同市元町の神戸ベーカリーでも鬼太郎パン、目玉おやじパンの2種類を発売。いずれも引き合いが多く、売れ行きは上々だという。

この〝鬼太郎ブーム〟に境港市はニンマリ。今やイケイケ状態の境港市では、その余勢を駆って来年の7月までにさらに妖怪像を37体までに増やす計画になっている。

でも、現地に行って気になったのは水木ロードを歩く人の少なさ。昼間でもガランとして夜の8時を過ぎると人っ子ひとりいない。文字どおり人間のいない妖怪だけの世界になってしまうのだ。

確かに9.9㌢の目玉おやじ像にはインパクトあったけど、さて、この〝妖怪ロード〟、境港市活性化への〝目玉〟となれるかどうか？　あとは妖怪たちのパワーに期待しましょ。

週刊プレイボーイNo.32　平成五年八月三日号

「私『お歯黒べったり』…　えっ！　写真が暗くて良くわからないって。
明るくっても良くわからない顔なのよ…　だって目、鼻は無いし
歯は真っ黒なんですもの…　愛なんですってば　ウフッ」



連載30●写真コラム　弘兼憲史の議



鳥取 境港市に「水木しげるロード」誕生 町おこしの特効薬は漫画にかぎる！

▼7月18日に行われた除幕式には水木しげる氏も参列した。「私も鬼太郎も、ふるさとはココです」と満足顔　PHOTO 神崎 龍



敬愛する水木しげる先生の前に建っているのはご存じ「ゲゲゲの鬼太郎」である。このほど、氏の出身地である鳥取県境港市が、商店街活性化につなげようと作ったもので、他にも「ねずみ男」をはじめとする、おなじみの妖怪群が同市のメインストリートにズラッと建ち並ぶ。名付けて「水木しげるロード」。いわゆる町おこし事業の一環で、これから観光の目玉になるのだろうが、同じ漫画家である私としては、嗚呼、漫画もここまで地位が向上したのかと感慨深い。

大体、観光地に建てられるこの種のものは文学碑か句碑と相場が決まっていた。石川啄木とか林芙美子の文学碑の前で写真を撮った、修学旅行の頃を思い出していただきたい。概ね観光バスが立ち寄るポイントに建てられており、それはピースマークを作って被写体となる自分のバックのオブジェでしか役割を果たさないのだ。昔の人はいざ知らず、最近の若者はああいうものを読まない。読もうとしても草書体で読めない。読めたとしても、何のこっちゃかさっぱりわからない。このことは若者だけではなく、今の立派な大人だって同じことだ。『巨人の星』や『あしたのジョー』で育った団塊の世代の部課長さんは、『金色夜叉』や『夫婦善哉』を読んだことがあるだろうか。作者やストーリーは言えても、ちゃんと読んだことのある人は少ないと思う。

メディアの主流は、活字から漫画に逆転した。今や文学、詩歌よりも圧倒的に漫画のほうが影響力が大きい。日本全国に建ちならぶ文学碑は、もはや意味不明のモニュメントと化した。全国市町村の観光課の皆様、これからはぜひ名作漫画のキャラクターの銅像を建てて下さい。町おこし、村おこしのお役にきっと立てると思います。ついでに永田町の責任者の方、「加治隆介」の銅像を建てる時はご一報下さい。委細面談、好条件希望。

Ⅱギョギョ！ブロンズ妖怪盗まれる

ゲゲゲ!!また妖怪盗難

水木ロードの「目玉おやじ」ちぎり取られる

境港市

境港市の駅前通りの水木しげるロードで、「目玉おやじ」のブロンズ像一体が持ち去られているのが二十二日、わかった。七月二十一日にも別の妖（よう）怪のブロンズ像二体が盗まれており、相次ぐ心ない行為に同市や地元松ケ枝町商店街の人たちは怒り心頭。境港署でも窃盗の疑いで捜査を始めている。

盗まれた「目玉おやじ」は、高さ15㌢大のブロンズ像。おわんの中に立つ格好で固定されていたが、足首だけを残してちぎり取られていた。

近くに住む婦人の話では、二十二日午前零時半ごろにはあったといい、同日午前六時二十分ごろに同町自治会の木下昭会長がなくなっているのを見つけるまでの間の犯行らしい。

「目玉おやじ」は等身大の鬼太郎、ねずみ男と並んで人気を集めており、近くの主婦、里見紀久子さん(六八)は「おわんの中におさい銭が投げ込まれるなど、大勢の人に親しまれていたのに。本当に悲しいことをするものです」とカンカン。作者の水木しげるさんも「全くひどいことをするものだ。いたずらにしても悪質」と嘆いている。

妖怪のブロンズ像は全部で二十三体設置。黒御影石の上にボルトと接着剤で固定してあるが、二体が盗難の被害に遭った後、同市は残る二十一体のブロンズ像を補強。同町自治会でも午後十一時までだったアーケードの照明を明け方まで点灯させるなど、対策を講じていた。

連絡を受けた同市土地計画課では、盗まれた「一反木綿」と「うわん」のブロンズ像を修復し、九月六日に再び設置するのを決めた矢先だっただけにショックも大きく「警備体制を強化するなど、何らかの対策を検討しなければ」と、今後の対応に頭を抱えている。



目玉おやじがちぎり取られた跡



盗まれた目玉おやじ

平成５年８月２６日



平成5年9月10日
大阪スポーツ

水木しげるの妖怪像盗まれる

『ゲゲゲの鬼太郎』で知られる漫画家・水木しげるさんの妖怪ブロンズ像1体が盗まれ、2体が壊されていることが9日わかった。



水木しげるさん

水木さんの出身地、鳥取県境港市松ケ枝町には「水木しげるロード」があり『ゲゲゲの鬼太郎』に登場する妖怪23体のブロンズ像がメーンストリートに並んでいる。7月に同ロードが完成したが、これで4体目が盗難にあった。今回盗まれたのはロード東端にあった『カシャボ』（高さ15センチ）で、台座と像をつなぐボルトごと引き抜かれていた。

同ロードは市が91年から3年計画で総事業費2億5000万円を投じ、妖怪37体の像をメーンストリートに飾る予定で、すでに23体が完成、7月18日に完成式を行った。しかし、同21日には「らわん」など2体、8月22日に「目玉おやじ」が盗まれている。

境港署では悪質な犯罪行為としてパトロールを強化する。

Ⅲブロンズ妖怪窃盗容疑者をタイホする

★とうとうブロンズ像の窃盗容疑者が捕まった。ニュースや一部の報道ではこの事件を「悪質なマニアの仕業」だと言っていた。ゴジラが盗まれた時もそうだったが根拠も無いのに勝手に何でもファンの仕業だというな！

平成5年9月11日
日刊スポーツ

自衛隊員が妖怪像盗む

境港の水木しげるロード

鳥取県警境港署は十日、境港市の「水木しげるロード」の妖怪オブジェを持ち去るなどしたとして窃盗、器物損壊の疑いで島根県八束郡美保関町森山、航空自衛隊第七警戒群監視隊一等空士三津井佳一(21)、同空士長竹永無我(21)の両容疑者を逮捕した。

調べによると、二人は八日夜、自衛隊の寮で酒を飲み、境港市の飲食店に出掛けたが、時間が遅く入店を断られたのに腹を立て、同市松ケ枝町の「水木しげるロード」のブロンズ製妖怪オブジェ「一反木綿」（長さ三十五センチ）を足でけって台座の一部を壊し、別のオブジェ「カシャボ」（高さ二十五センチ）を自衛隊の寮に持ち帰った疑い。

妖怪像窃盗・損壊の容疑
2自衛官を逮捕

漫画家水木しげるさん(七一)の妖怪（ようかい）のブロンズ像を並べた鳥取県境港市の「水木しげるロード」で九日、像が盗まれたりした事件で、境港署は十日、島根県八束郡美保関町森山、航空自衛隊第七警戒群監視隊一等空士三津井佳一容疑者(二一)を窃盗の疑いで、同、空士長竹永無我容疑者(二一)を器物損壊の疑いで逮捕した。

調べによると、二人は八日夜から宿舎で酒を飲んだ後、境港市内へ出て九日午前一時半ごろ、「水木しげるロード」近くのスナックに入ろうとしたが断られて腹を立てた。三津井容疑者は「カシャボ」像（高さ二〇センチ）を二回ぐらいけり、引っ張って台座からはずし、宿舎に持ち帰った疑い。竹永容疑者は「一反木綿」像（高さ三〇センチ）を四回ぐらい足でけって壊した疑い。「カシャボ」は三津井容疑者の部屋から見つかった。

境港署は目撃証言と飲食店などの聞き込み捜査で二人の容疑者を突き止めた。

平成5年9月11日
朝日新聞



「茄子ではありません
カシャボです」



「妖怪」窃盗容疑で逮捕

鳥取・境港で自衛官2人

鳥取県警境港署は十日、同県境港市松ケ枝町の市道「水木しげるロード」に並ぶ妖怪（ようかい）のブロンズ像を盗んだとして、航空自衛隊第七警戒群監視隊一等空士、三津井佳一容疑者(二一)と同隊空士長、竹永無我容疑者(二一)＝いずれも島根県八束郡美保関町＝の二人を窃盗と器物損壊の疑いで逮捕した。

調べでは、二人は九日午前一時半ごろ、水木しげるロードに設置してある妖怪ブロンズ像「カシャボ像」を台座から外して美保関町の隊舎にある三津井一等空士宅に持ち帰り、別の二体を足でけって壊した疑い。

二人は「スナックで入店を断られ、腹が立ってやった」と供述しているという。

水木しげるロードは同市が、地元出身の漫画家、水木しげるさん(七一)にちなんで今年七月に完成させたが、オープン直後からこれまでに延べ四体が盗まれ、二体が壊された。

平成５年９月１１日
毎日新聞

自衛官2人を逮捕

境港の水木しげるロード　妖怪像持ち去る

鳥取県警境港署は十日、境港市の「水木しげるロード」の妖（よう）怪オブジェを持ち去るなどしたとして窃盗の疑いで島根県八束郡美保関町森山六三二、航空自衛隊第七警戒群監視隊一等空士、三津井佳一（21）、器物損壊の疑いで同空士長、竹永無我（21）の両容疑者を逮捕した。

調べによると二人は八日夜、自衛隊の寮で酒を飲み、境港市の飲食店に出かけたが、時間が遅く入店を断られたのに腹を立て、同市松ケ枝町の「水木しげるロード」のブロンズ製妖怪オブジェ「一反木綿」（長さ三十五ｾﾝ）を足でけって台座の一部を壊し、別のオブジェ「カシャボ」（高さ二十五ｾﾝ）を自衛隊の寮に持ち帰った疑い。

「水木しげるロード」の妖怪像は地元出身の漫画家、水木しげるさんにちなんで同市が設置したもので、ことし七月にも何者かによって「一反木綿」などが盗難に遭い、今月六日に再設置したばかり。今回壊された一体は再設置したばかりの妖怪像だった。

平成５年９月１１日
日本経済新聞

2自衛官を逮捕

水木しげるロード　妖怪像を破壊、盗む

鳥　取

鳥取県警境港署は十日、境港市の「水木しげるロード」の妖怪オブジェを持ち去るなどしたとして窃盗、器物損壊の疑いで島根県八束郡美保関町、航空自衛隊第七警戒群監視隊一等空士、三津井佳一(二一)、同空士長、竹永無我(二一)の両容疑者を逮捕した。

調べによると、二人は八日夜、自衛隊の寮で酒を飲み、境港市の飲食店に出掛けたが、時間が遅く入店を断られたのに腹を立て、同市松ケ枝町の「水木しげるロード」のブロンズ製妖怪オブジェ「一反木綿」（長さ三十五ｾﾝ）を足でけって台座の一部を壊し、別のオブジェ「カシャボ」（高さ二十五ｾﾝ）を自衛隊の寮に持ち帰った疑い。

「水木しげるロード」の妖怪像は地元出身の漫画家、水木しげるさんにちなんで同市が設置したもので、ことし七月にも何者かによって「一反木綿」などが盗難に遭い、今月六日に再設置したばかり。

平成５年９月１１日
サンケイ新聞

Ⅳ盛り上がる境港
鬼太郎グッズもフハッと大登場！



お客さんに人気の妖怪パン



平成５年８月２８日　日本海新聞

あれ！かわいい 妖怪パン

境港 パン屋にお目見え チビっ子らに好評

境港市内のパン屋に、ゲゲゲの鬼太郎とその仲間たちをあしらったジャンボパンがお目見え、話題になっている。

このジャンボパンは、同市元町の神戸ベーカリー（坂本定雄社長）が、PR用に店に飾っている。サイズは、高さ約四十㌢から二十㌢。妖怪（ようかい）の姿をかたどったカンパンにかわいい目や鼻、口などがついている。

同店では、鬼太郎の顔をあしらった妖怪パンを販売して人気を呼んでおり、水木さんも買って帰ったという。

店を訪れたチビっ子たちも、でっかいパンに「あれ、かわいい」と、びっくり。お客さんの評判は上々で、坂本全専務は「店の宣伝を兼ねて作りました。売ってくれというお客さんもありますが、売り物ではないのでお断りしています」と、水木さんの妖怪人気にびっくりしている。

山陰地域外でも販売は"OK"

鬼太郎グッズ思わぬハプニング

著作権管理の境港市観光協

平成5年12月14日
日本海新聞

全国から相次ぐ注文　PRになれば

境港市の松ケ枝町商店街に誕生した水木しげるロードの人気に乗って、せんべいやまんじゅう、バッジ、テレホンカードなどさまざまな"鬼太郎グッズ"が登場しているが、一部全国的にも話題を集め、注文が相次ぐ商品も出てきた。原則として山陰地域でしか販売できない"決まり"があるため市は一時あわてたが、調べたところ問題ないことが分かって"一件落着"。鬼太郎人気が一人歩きしたため起こった思わぬハプニングだった。

同ロードで販売されているグッズは、水木さんとの話し合いで、市内の業者（もしくは個人）が、原則として市内を中心に山陰地域で販売するケースに限り、売り上げの三％にあたる"格安"の著作権料で製造販売できるシステム。

ところが、ユニークな商品として婦人雑誌に"鬼太郎グッズ"が掲載され、全国的に紹介された市内のある商店には、十三日までで全国各地から二百件以上もの注文が相次いだ。

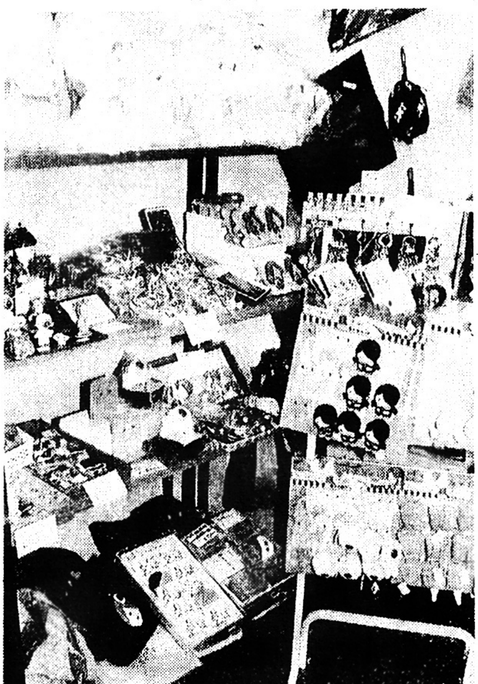
この店では「水木ロードに来たくても来られないお客様の希望にこたえるため、注文を受けて」個人向けに商品を販売している。

このため、同ロードに関連する商品の認定、著作権を管理する境港市観光協会などに「規定に違反するのではないか」と指摘が相次いだ。

あわてた同協会が調べた結果、「全国の問屋に卸して拡販しようというものではなく、あくまで対個人の販売。境港のPRになるため、なんら問題はない」とわかった。

同協会によると、届けがあった商品の認定にあたっては、原則以外に、物産展や境港市のPRになると認めたものは限定地域外で販売してもよい―などとしている。

今回のケースは、同協会側が商品が全国的に紹介されたことや販売方法について何も知らなかったため一時当惑する羽目に。同協会は「今後は業者との連絡を密にして状況の把握に努めたい」とし、「万が一にも水木さんの好意が悪質な業者などに利用されないよう、しっかりと運用していく」と、ますます盛り上がる鬼太郎ブームに気を引き締めている。



続々登場する"鬼太郎グッズ"。全国的にも話題を集め、思わぬトラブルも…



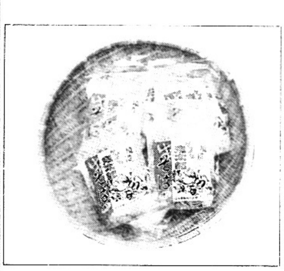


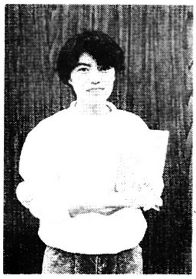
商工会議所会員を招いて…… ㉝

㈲山本製麺所

事業所のあらまし

開業	昭和38年
代表者	山本乙由
所在地	境港市朝日町66 ☎42－2408
営業内容	麺類製造





「鬼太郎そば」は、3食入りで500円。うまいんだなこれが…。

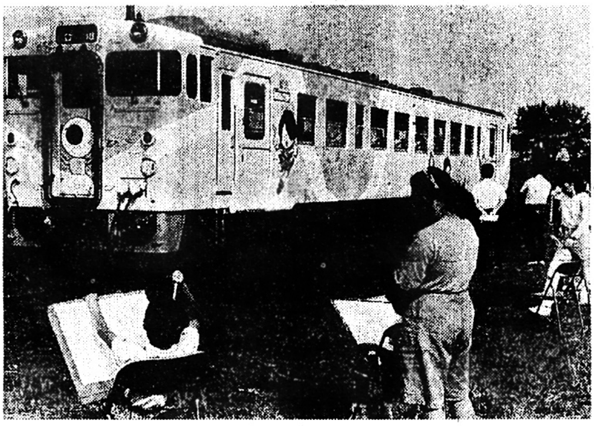
〔ワンポイント・PR〕

開業して30年。製品はスーパーなどにも出していますが、業務用が多いそうです。ラーメン・うどん・やきそば・そばのほか、ギョーザ・ワンタンの皮まで造っているそうです。結構種類が豊富でしょ。

先月から「鬼太郎そば」を新発売。裏には水木しげるさんの略歴も載せていて、お土産にも最適。水木しげるロードの各お店や空港売店に置いています。ぜひお試しを。「いっかんもめんうどん」も検討中。

V幽霊電車ならぬ鬼太郎列車走る！

「鬼太郎列車」山陰を走る



ＪＲ境線に登場する「鬼太郎列車」を写生する子供たち 9/11 サンケイスポーツ

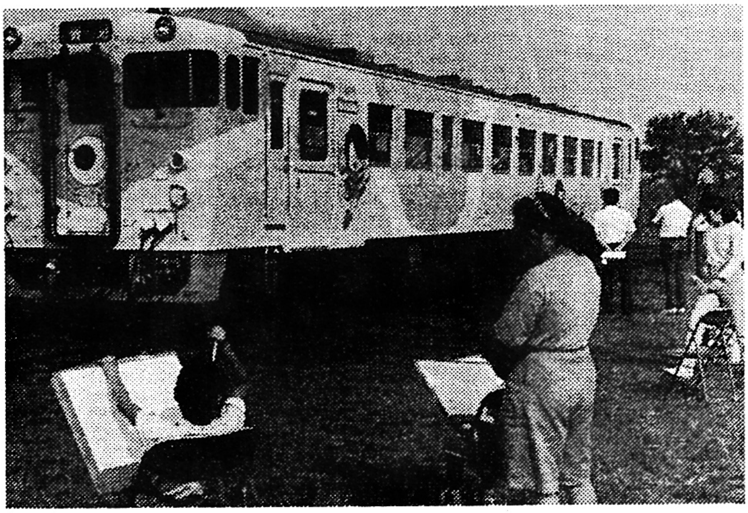
車体に妖怪（ようかい）の絵を描いた「鬼太郎列車」が、鳥取県の弓ケ浜半島のＪＲ境線に登場することになり、15日、同線の大篠津駅で公開された。集まった子供たちは写生するなど大喜び。

境港市出身の漫画家、水木しげるさん(七二)の作品に出る、ゲゲゲの鬼太郎はじめ、ネズミ男など妖怪7体が、気動車の横腹で踊っている。ＪＲ西日本米子支社の企画で、米子―境港間の定期列車として19日から走る。

境港市は今春、商店街に妖怪像を並べた「水木しげるロード」をつくり評判になった。人気が高まり、最近、ブロンズ像の盗難が相次ぐなど大騒ぎ。「鬼太郎列車」の参入で、弓ケ浜半島一帯は、お化けが話題をさらいそう。

☞平成五年九月十日／スポーツニッポン

NEWS ボックス



ＪＲ境線に登場する「鬼太郎列車」を写生する子供＝鳥取県境港市のＪＲ大篠津駅

ゲゲゲの鬼太郎 列車がお目見え

鳥取・ＪＲ境線で定期列車として

○…車体に妖怪(ようかい)の絵を描いた「鬼太郎列車」が、鳥取県の弓ケ浜半島のＪＲ境線に登場することになり、十五日、同線の大篠津駅で公開された。集まった子供たちは写生するなど大喜び。

○…境港市出身の水木しげるさん(七二)の漫画に出る、ゲゲゲの鬼太郎はじめ、ネズミ男、目玉おやじなど妖怪七体が、気動車の横腹で躍っている。これはＪＲ西日本米子支社の企画で、米子―境港間の定期列車として十九日から走る。

○…境港市は今春、商店街に妖怪像を並べた「水木しげるロード」を作り評判になった。人気が高まり、最近、ブロンズ像の盗難が相次ぐなど大騒ぎ。「鬼太郎列車」の参入で、弓ケ浜半島一帯は当分お化けが話題をさらいそう。

Ⅵ鬼太郎音頭で踊るの恥ずかしくない？

水木しげるロード完成に〝花〟

「鬼太郎音頭」を初披露

境港・地元自治会

境港市の「水木しげるロード」を盛り上げようーと、地元自治会が制作を進めていた「鬼太郎音頭」が完成し二日夜、初披露された。ゲゲゲの鬼太郎やねずみ男をイメージした踊りがユニークで、子供からお年寄りまで親しまれそう。



鬼太郎をイメージした踊りを披露する婦人たち

鬼太郎音頭は、松ケ枝町自治会（木下昭会長）と大正町自治会（岡空昇会長）が共同で制作。町民から募集した歌詞を制作委員会でまとめ、米子市在住の作曲家・石田光輝氏が作曲、踊りの振り付けを市内馬場崎町の仲里昭子さんが担当した。

「ふれあい広場鬼太郎ロード　鬼太郎音頭で夢を呼ぶ」ー。音頭の発表は、この日、同市大正町の「しおさい会館」で開かれた松ケ枝町自治会総会の席上行われた。テープに収録された歌が披露され、同町の婦人たち十数人が法被姿でテープに合わせて踊った。

おぼえやすい陽気な歌に、げたを履いた鬼太郎が片足あげたおどけたポーズやねずみ男のひょうきんな姿をアレンジした振り付け。木下会長は「鬼太郎と一緒に歌って、踊って、ふれあいロードの意義を高めたい」と出来栄えに満足そう。十八日のロードの完成式では大正町自治会の人と一緒に踊りパレードを行う。

せんべい、パンも登場



鬼太郎せんべいも登場

一方、水木しげるロードの完成を前に、市内の業者がせんべいやパンなど鬼太郎商品を開発。境港の新しい土産物として人気を呼びそうだ。

このうち境港市花町の赤石商店（赤石有平社長）は「ゲゲゲの鬼太郎せんべい」を発売する。鬼太郎、目玉親父、ねずみ男、砂かけばばあなど鬼太郎ファミリーの絵を焼き印した卵せんべいだが、激辛の〝地獄せんべい〟、神社でおはらいを受けた魔除けの札も入れるなど、若い社員のアイデアで遊びにもひと工夫。

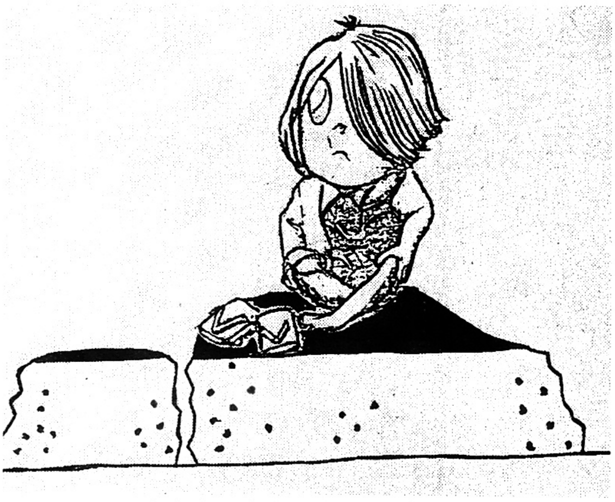
一箱（二十四枚入）千円程度で販売するが、同社では「妖怪のパターンを増やしていきたい」と話している。

鬼太郎音頭作ります♪

水木しげるロード盛り上げへ

振り付け妖怪イメージ

境港・地元自治会



まちおこしに一役買う鬼太郎

♪鬼太郎音頭でシャシャンと夢を呼ぶ—。妖怪（ようかい）で地域おこしに取り組んでいる境港市で、JR境港駅前通りに整備している「水木しげるロード」の完成に合わせ、今度は地元自治会が「鬼太郎音頭」の制作に乗り出した。来月上旬に披露される。鬼太郎を使った商店会の買い物カード、市役所の公用はがき、妖怪センベイなど、日本一の漁港は鬼太郎ブームだ。

　鬼太郎音頭は、水木しげるロードの地元、松ケ枝町と大正町の自治会が共同で制作。ロードを盛り上げて地域おこしを—と思い付いた。

　「老いも若きも集うまち。クスの木青葉さわやかにおいでおいでとそよぐふれあい広場鬼太郎ロード　鬼太郎音頭でシャシャンと夢を呼ぶ」—。

　町民から募集した歌詞を、制作委員会でまとめ、作曲は境港市出身の作曲家・石田光輝氏（米子市在住）に、踊りの振り付けを市内馬場崎町の仲里昭子さんに依頼。妖怪をイメージした振り付けで、今月末には完成、七月二日の松ケ枝町自治会総会で披露する。

　地元の木下昭自治会長は「せっかくユニークな通りができるので、地元としてもこれを盛りあげて利用していきたい。鬼太郎音頭で地域のふれあいを深め、市民の交流の場としてアピールできれば」と張り切っている。

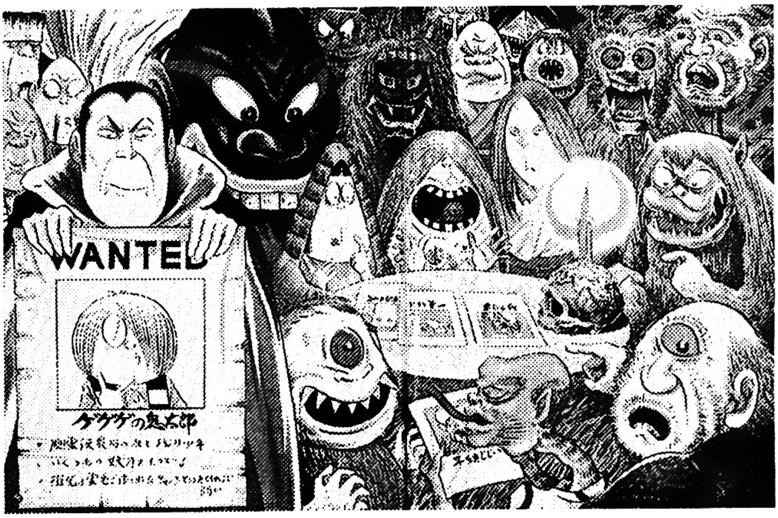
　水木しげるロードは、同市出身の漫画家水木しげるさんの妖怪漫画を題材にした彫刻、モニュメント、絵タイルを歩道に設置し、市民が集うコミュニティ道路にする計画。来月二十日ごろには大正川以東が完成する。

Ⅷ境港に水木しげる記念館の構想が…凄そう…

平成５年９月８日　朝日新聞

境港に「鬼太郎記念館」

世界中の妖怪あつまれ



「ゲゲゲの鬼太郎」などで知られる漫画家水木しげるさん(七一)の故郷、鳥取県境港市が、水木さんの妖怪（ようかい）作品などを展示する「水木しげる記念館（仮称）」を建設する方針を決めた。水木さんは「妖怪グッズなどの著作権料分を市に寄付、郷里のために全面的に協力します」と話している。

人気〝過熱〟で構想が具体化

記念館には水木さんの妖怪作品の原画約五百点や、水木さんが集める外国の妖怪像などを展示する予定。水木さんは「世界の妖怪博物館にしてもらえたら」と歓迎している。

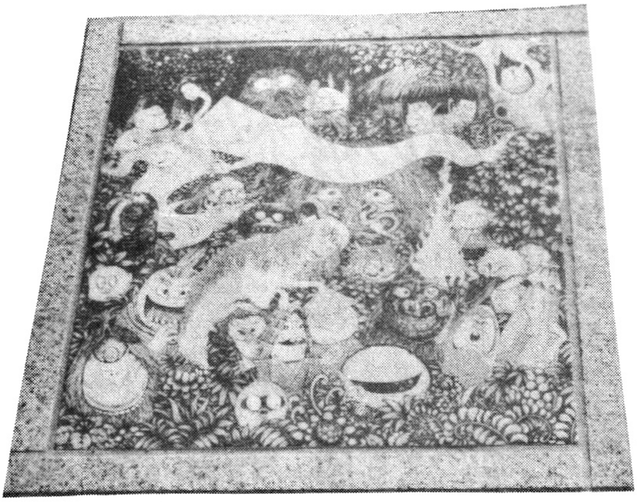
世界の妖怪＝水木しげる著「続妖怪画談」（岩波新書）より

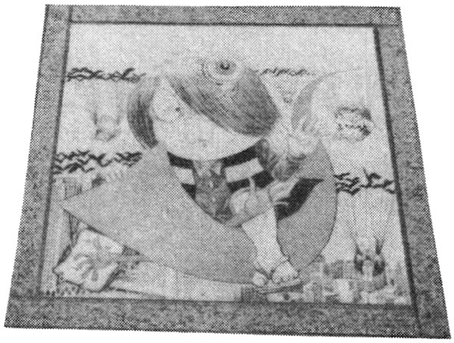
水木さんが市に全面協力

同市では鬼太郎やねずみ男など、妖怪のブロンズ像を並べた「水木しげるロード」が七月にオープン。子どもたちやファンが連日押しかけ、「目玉おやじ」など三体が相次いで盗まれる事件も起きたほど。この人気に、以前から地元やファンの間で検討されていた記念館構想が具体化した。来年度中にも基本設計に入りたいという。

水木さんは、同市内で販売される関連商品の著作権料（販売価格の三%）の全額を九月から市観光協会に寄付するので、展示品の充実に使ってほしいとしている。この寄付金を中心にした基金が、年内にも設立される見通し。

地元ではすでに「鬼太郎パン」「鬼太郎せんべい」など、水木さんの作品にあやかったおみやげ品も飛ぶような売れゆきだが、水木さんの好意で著作権料分は無償になっている。





VIII まるでロスやね！ 参上ロードに鬼太郎タイル

境港・水木しげるロード

絵タイル誕生

50センチ四方 8枚色鮮やかに

境港市松ケ枝町の水木しげるロードにゲゲゲの鬼太郎の絵タイル八枚が設置され、十九日から一般に公開された。

絵タイルは五十センチ四方。鬼太郎や妖（よう）怪が水木さんの原画通り、色鮮やかに描かれている。絵タイルは、同市外江町の林セメント工業で製作。原画をタイルに電子照射し、表面を特殊樹脂加工した。変色せず傷も付きにくいという。

設置場所は、妖怪ブロンズ像が設置されている水木ロード向かいの歩道約三百五十メートル。訪れた観光客からは、「きれいな絵タイル」と、人気を呼んでいた。



水木しげるロードに設置された絵タイル

小学生ら1300人参加

「水木しげるのおもっしぇ話」

境港

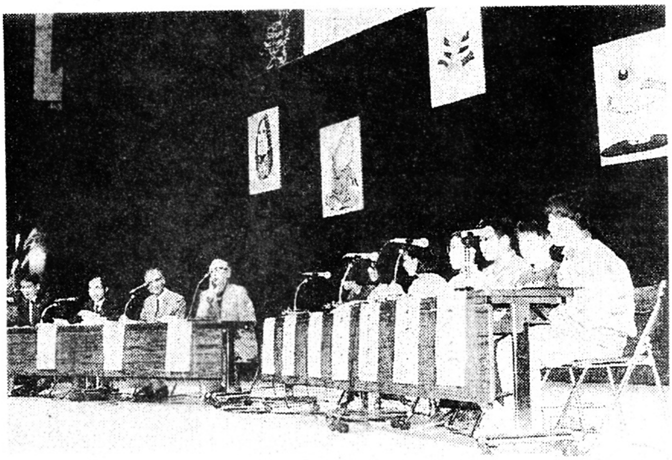
境港市出身の漫画家、水木しげるさん(七一)を招いて、「水木しげるのおもっしぇ話」と題するパネルディスカッションが三日、同上道町の市民会館で開かれた。小学生を中心に市民約千三百人が訪れ、水木さんとの対話を通して、楽しいふれあいのひとときを過ごした。

境港青年会議所が、子供たちに水木さんの世界を通して個性豊かな創造性を養ってもらおうと企画した。

「ゲゲゲの鬼太郎」の映画上映の後、パネルディスカッションがあり、市内の七小学校から六年生が一人ずつパネリストとして出席。水木さんに「鬼太郎のお母さんは人間ですか」、「なぜ鬼太郎には味方の妖(よう)怪がいるの」などと質問した。水木さんは妖怪が誕生するまでのエピソードを交えながら、質問一つひとつに丁寧に答えていた。

また、水木さんは「六十年前の境港は自然がたくさんあったが、すっかりにぎやかな街になってしまった。百年先は全く想像もつかない」などと話し、子供時代の遊びやお化けとの出会いなどを浜弁を使ってユーモアたっぷりに講演。会場は終始和やかなムードで、子供たちはひとみを輝かせながら聴き入っていた。

IXそして水木先生は必殺多忙人になる



水木さんを囲んで行われたパネルディスカッション



黒見市長から功労表彰を受ける水木しげるさん

水木さんを功労表彰

新たな街づくりに貢献

境港市

文化の日の三日、境港市の表彰とダイヤモンド婚・金婚記念祝賀式典が市民会館で行われ、同市出身の漫画家で水木しげるロードの建設などを通じて市の新たな街づくりに貢献した、水木しげるさん（東京都調布市）に功労表彰が贈られたほか、市政の発展に寄与した人たちを顕彰。併せて半生期にわたり人生を共にしてきた夫婦を祝った。

式典には関係者など約二百五十人が出席。黒見市長のあいさつのあと、水木しげるさん（東京都調布市）に功労表彰、自治会の育成充実に寄与した松本進さん（境港市財ノ木町）ら五十一人に善行表彰、二十年間学校医を務めている相原村子さん（麦垣町）ら五十七人に勤続表彰、自作のビデオテープを寄贈した県山義さん（中野町）ら七人と四事業所、一団体に感謝状を贈った。

功労表彰を受けた水木さんは四日、水木さんの漫画に登場するゲゲゲの鬼太郎やねずみ男のイラストが描かれているJR境線の鬼太郎列車に乗り、水木ロードで街おこしを図る境港をPRした。

続いて遠藤正春さん・あきこさん夫妻（外江町）らダイヤモンド婚を迎えた七組と渡部立身さん・登紀子さん夫妻（渡町）ら五十一組の金婚に記念品を贈った。

この後、勤続表彰を受けた小杉武さん（東本町）が受賞者を代表して「この感激を忘れず、これからも市の発展のために尽くしたい」とお礼の言葉を述べた。

平成5年8月2日　日本海新聞

この人に聞く >>> 30

パリに「妖怪」並べても通用

人集めには祭りが一番

故郷の境港市にゆかりの妖怪ロードが設置された漫画家

水木しげるさん



―境港市の水木しげるロードは除幕以来、大変な人気です。作者から見て出来栄えはいかがですか。

非常にいいですよ。石（台座、御影石）にあれぐらいの大きさで（妖怪のブロンズ像を）安置したというのがいい。石を使ったのが大成功です。石の中から（妖怪が）出てきたような感じがするでしょう。ブロンズ像も良くできている。パリに並べても恥ずかしくない。

―妖怪と石というのは関係があるんですか。

妖怪というのは人間の想像を絶するものですから。もともと宇宙ができた時から目に見えないものがいて、それを見る能力がある人がいるわけですけど、現に雪男、アメリカではビッグフットというんですが、それは目に見えないわけですよ。インディアンの魔術師が出会ったことがあるようですが、影だったらしいですね。それも妖怪の一族ですから、目に見えない存在だけど、いると。石から出るものもいますからね。未知なものが石から出るという感じに合うんですわ。

―妖怪というと闇（やみ）の住人というイメージがありますが、明るいところにかつぎだされてびっくりしているのでは。

そうですね。だけど昔から見る人によって昼間でも見えるわけですから。妖怪は霊です。見えないけど、ふとした時に感じることはできる。それはやっぱりいるんですよ。

―設置する妖怪を選んだ基準は。

作りやすい、面白いとか、愛敬があるというところですが、そればかりこだわってもいけないので、「お歯黒べったり」のような作りにくいものも入っていますす。だいたいみんないいですけど、入り口のところにある「カシャボ」が特に良くできている。

―残念なことに、除幕早々妖怪のブロンズ二体（「一反木綿」と「うわん」）が盗まれました。

マニアのしわざだと思いますよ。マニアは盗みたくなるんですよ。私も現に全部さわりましたからね。触ってみたくなると、引き抜いてみたくなる。また、酔っ払った若者が力試しにグイッと引き抜いたかもしれない。「うわん」なんか体に手をかけて引いてみたくなる。きっと押し入れの中に隠しているでしょうね。

―以前、このロードに人をもっと集めるには大きな仕掛けが欲しいとおっしゃっていましたが。何かアイデアはありますか。

祭りがいいんじゃないかと思います。お金をかければ簡単ですけど。祭りでおばけの仮装をして歩くんですよ。何回もやっているうちに知恵がつきますからね。よくみんな即効性を求め、一回やってダメだったらダメということになるけど、それは違うんですよ。何回も重ねてよくなるのですから。現にスリランカでそういう祭りがあります。妖怪が四十人に、ゾウ、太鼓とにぎやかで世界中から見に来る。日本でもばけもの祭りやそれに類したものがありますが、ちょっと地味なんです。鬼太郎に出る妖怪を百ぐらい仮装して、趣向をこらせば面白い祭りになると思う。

―記念館の構想もありますが。

記念館もいいですけどね。飾るものを補充しなければならない。今なら世界中の妖怪を集められる。面白く見られるようにすればいいが、ただ、その人が使った机や火鉢をならべてもだめですよ。世界や日本の妖怪をたくさん集めて、並べないと。

―ロードが整備された松ケ枝町商店街、駅前通りには思い出がありますか。

大きなイチョウの木がありました。私が小学校五、六年のころはものすごくにぎやかな通りでした。夜はいろんな行商なんかも出たりして。道が狭かったけどね。

―境港については。

ずいぶんきれいになりましたよ。でも人口が減りぎみでしょう。雇用の問題もあって難しいですね。いまのままでいいと思いますがね。やっぱり、にぎやかにするなら祭りですよ。

プロフィル

大正十一年境港市入船町生まれ、本名武良茂。武蔵野美術学校中退。昭和三十三年漫画デビュー。「ゲゲゲの鬼太郎」「河童の三平」「悪魔くん」「日本史8巻」など数多くの作品を発表。平成三年紫綬褒章受章。日本民俗学会会員。東京都調布市富士見町、71歳。

鬼太郎に逢える街
水木ロ〜ドの仲間たち



①

境港市松ケ枝町に水木ロードが完成して十八日で一カ月を迎えた。同市出身の漫画家・水木しげるさんのマンガのキャラクター、鬼太郎やねずみ男などのブロンズ像二十三体が並べられ、夏休み中の子供たちで連日にぎわっている。まちおこしの起爆剤と期待される水木ロードの妖怪たちを、写真とプロフィールで紹介する。



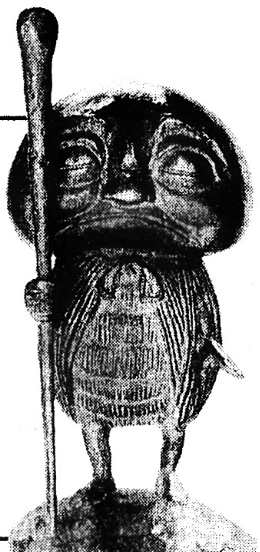
カシャボ

かっぱが冬になって山奥に入るとカシャボになる。頭の真ん中だけ毛を残し、青い衣を着ている。六、七歳ぐらいのかわいい子供の姿で、人なつこい。



ねずみ男

なまけ者で、鬼太郎親子に寄生して生きている。好奇心盛んで何にでも手を出して失敗するが、持ち前の口のうまさでうまく切り抜ける。



油すまし

熊本県天草の草隅越という山道に住んでいるという。その昔、灯油料を盗んだ僧侶の亡霊が妖怪になったのだとも伝えられている。

鬼太郎に逢える街 水木ロ〜ドの仲間たち ②



お歯黒べったり

夕闇迫る町はずれの神社や寺に現われ、通る人たちをおどかす女ののっぺらぼう。白い顔の下がぱっくり割れるとお歯黒べったりの歯でニタニタ笑う。



石見の牛鬼

夜、海の中から現れて釣り人を襲うといわれている。大きく真っ黒な姿をした怪物で、大声でほえて驚かせる。



かみきり

人の髪をスッパリ切ってしまう妖怪。幽霊や獣と結婚しようとすると、どこからともなく突然現われて散髪してしまう。

鬼太郎に逢える街
水木ロ～ドの仲間たち
③

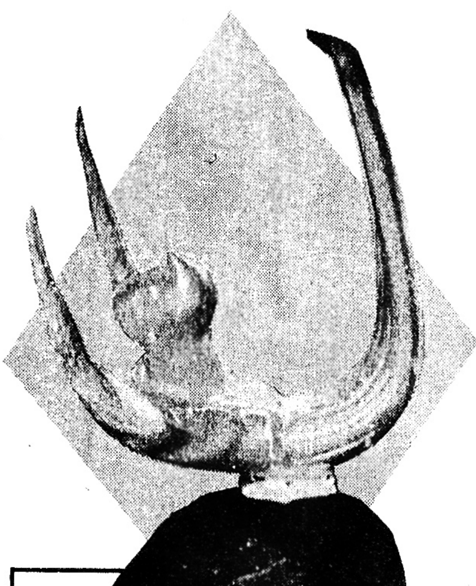


鬼太郎

悪い妖怪と命がけで戦うヒーロー。学生服の上に超能力を秘めたチャンチャンコを着ている。頭の中央の髪の毛の中に〝妖気計〟を持ち怪しい者は近づけない。

小豆洗い

谷川のほとりか橋の下でショキショキと、小豆を研ぐような音をさせる。おもしろがって近づくと必ず水に落ちるといわれている。



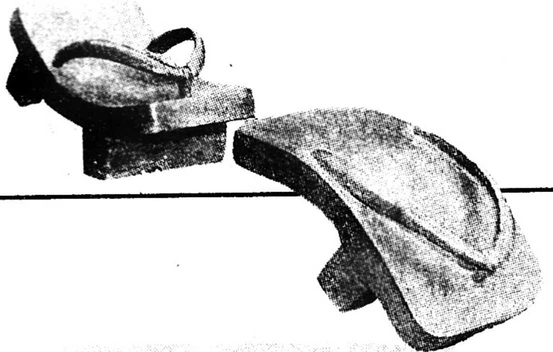


すっぽんの幽霊

すっぽんのような顔で足が長く、まるで幽霊のよう。すっぽんをあまりたくさん食べると出てきておどかすという。



④



鬼太郎のゲタ

リモコン下駄ともいい、独立して鬼太郎を助ける力がある。鬼太郎を襲う悪い妖（よう）怪の顔をめがけてキック！

目玉おやじ

人類の前の人類といわれ、超能力がある。溶ける病気で目玉だけになってしまったが、鬼太郎を良い妖（よう）怪に育てあげた。





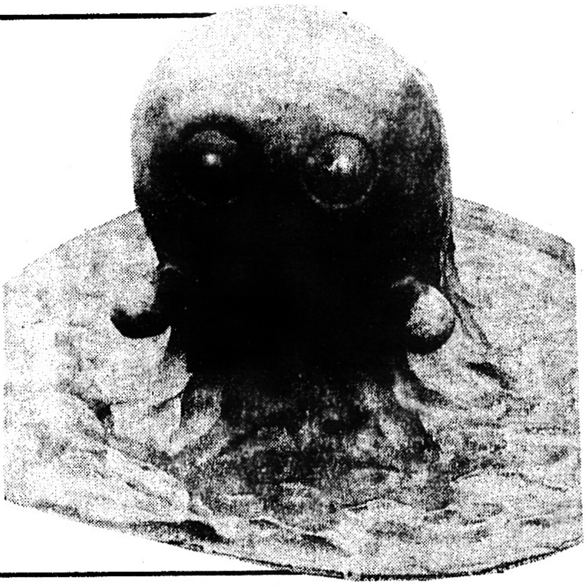
雨ふり小僧

雨を降らせる神様に仕える子供の妖（よう）怪。雨の日の野原によく現れる。　柄のない傘をかぶり、手に持つちょうちんを振って雨を降らせるという。



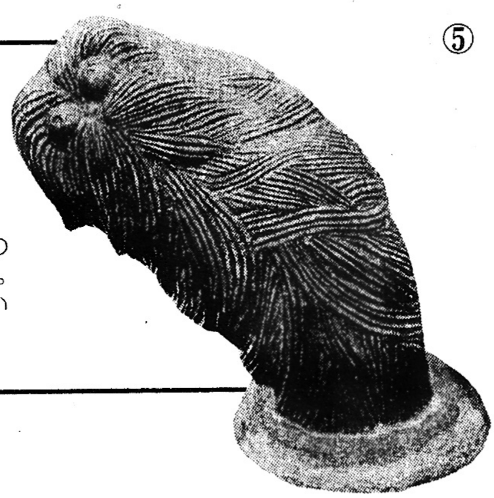
⑤

海坊主



海上に現れる黒くて巨大な妖（よう）怪。機嫌を損なうと船をひっくり返してしまうため、姿を現しても見ぬふりをしなければならない。

毛羽毛現（けうけげん）



日当たりの悪いじめじめした所に、人のいないとき出現する毛だけの妖（よう）怪。家に住みつくと家族の元気がなくなるという。

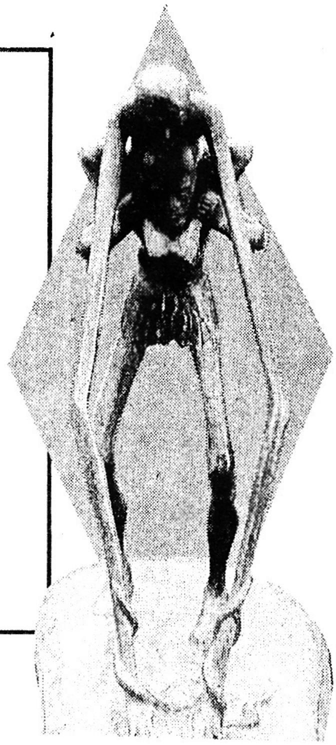


木葉天狗（このはてんぐ）

顔や姿は人間に似ているが、くちばしがあり肩の後ろには翼が生えている。山野の神で変化自在。人の意表をついて驚かす。

鬼太郎に逢える街 水木ロ～ドの仲間たち

⑥



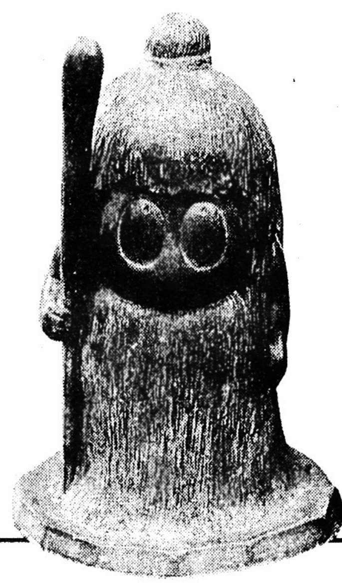
手長足長

足長人が、手長人を背負って海で魚を捕るとされている。足長人の足と手長人の手の長さはいずれも約六㍍で、出現すると必ず天気が変わるという。

川ウソの化け物

年をとった川ウソ。若い女に化けて人をたぶらかす。笠をかぶって隠している顔は6、70歳の老女で両目はギラギラとすさまじく光っている。





倉ぼっこ

古い倉に住む害をなさない妖怪。火災から倉を守る防火の神としてもまつられており、髪を長くたらして顔をかくした女の姿で現れる。

鬼太郎に逢える街 水木ロードの仲間たち ⑦

（おわり）

白溶裔（しろうねり）

台所などの古いぞうきんが妖（よう）怪になったもの。夜になると飛び回って人の口にからみつき、においと感触でたいていの人は気を失ってしまう。



幽谷響（やまびこ）

呼べば真似をして言い返してくる１本足の子供の妖怪。山々に声をこだまさせながら飛び歩いている。

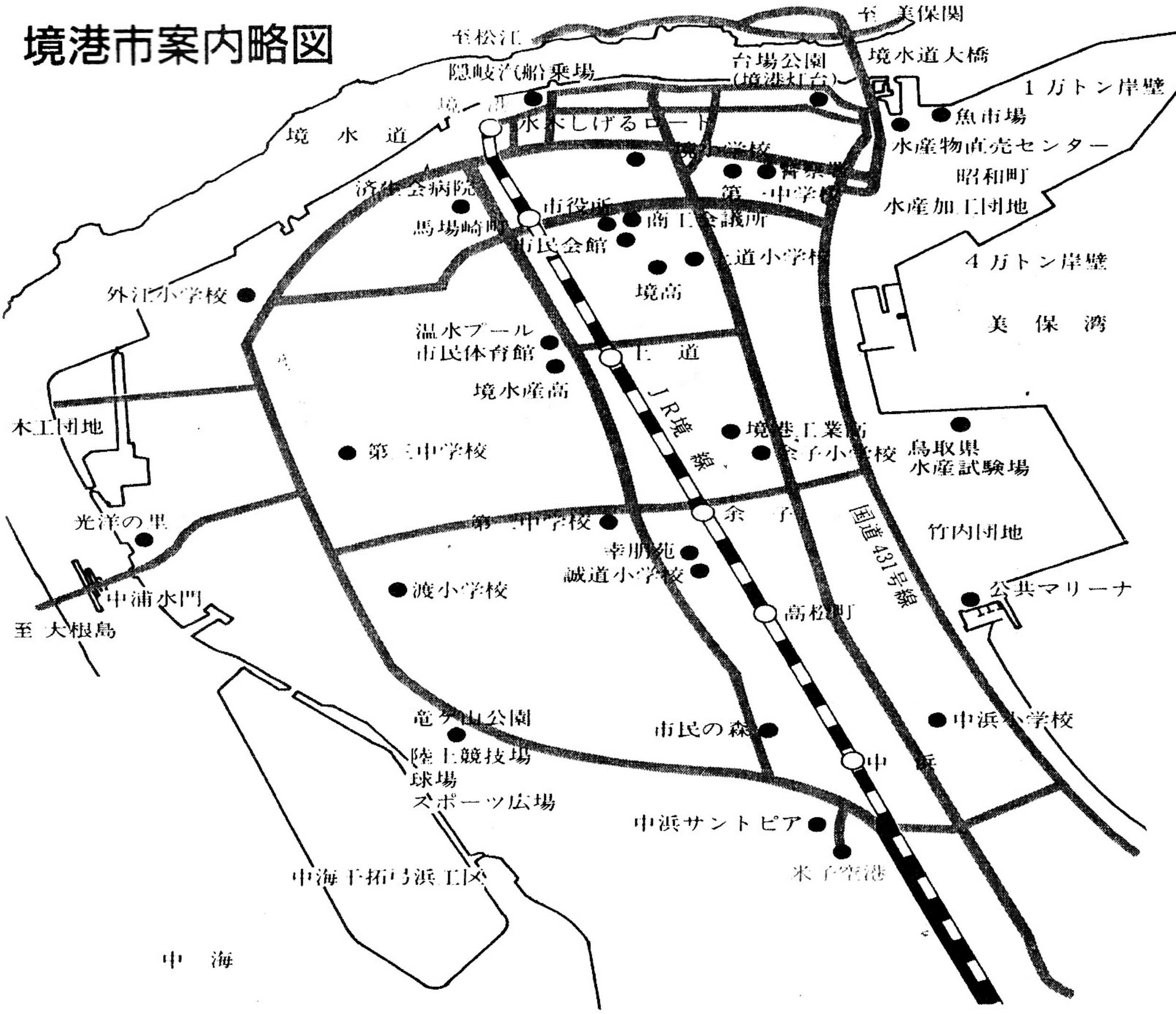




川 猿

子供の姿となって人を化かすことがあり、体中から魚のにおいがする。おく病な性格だが、自分を助けてくれた人の顔は決して忘れないという。

境港市案内略図



東京 ―――― 境港
<鉄 道> 7時間(新幹線・伯備線経由)
<飛行機> 75分

名古屋 ―――― 境港
<鉄 道> 5時間(新幹線・伯備線経由)
<飛行機> 65分

大阪 ―――― 境港
<鉄 道> 4時間(新幹線・伯備線経由)
<飛行機> 60分
<自動車> 3時間30分(中国自動車道経由)

岡山 ―――― 境港
<鉄 道> 3時間(伯備線経由)
<自動車> 3時間30分

福岡 ―――― 境港
<鉄 道> 5時間30分(新幹線・伯備線経由)
<飛行機> 75分
<自動車> 6時間(中国自動車道経由)

境港 ―― 隠岐
<超高速船> 1時間20分
<フェリー> 2時間45分
<飛行機> 25分

境港 ―― 美保関
<自動車> 20分

レンタカー

マツダレンタリース	42－4426
ニッポンレンタカー	45－0913

タクシー

港タクシー	44－0555
日交タクシー	42－3115
わかとりタクシー	44－0345

バ ス

外浜線
境港駅~米子駅 約50分
内浜線
境港駅~米子駅 約1時間
産業道路(国道431号線)
境港駅~米子駅 約40分

● お問合せ
日ノ丸自動車 32－2121
日本交通 33－9111

観光のお問い合わせは

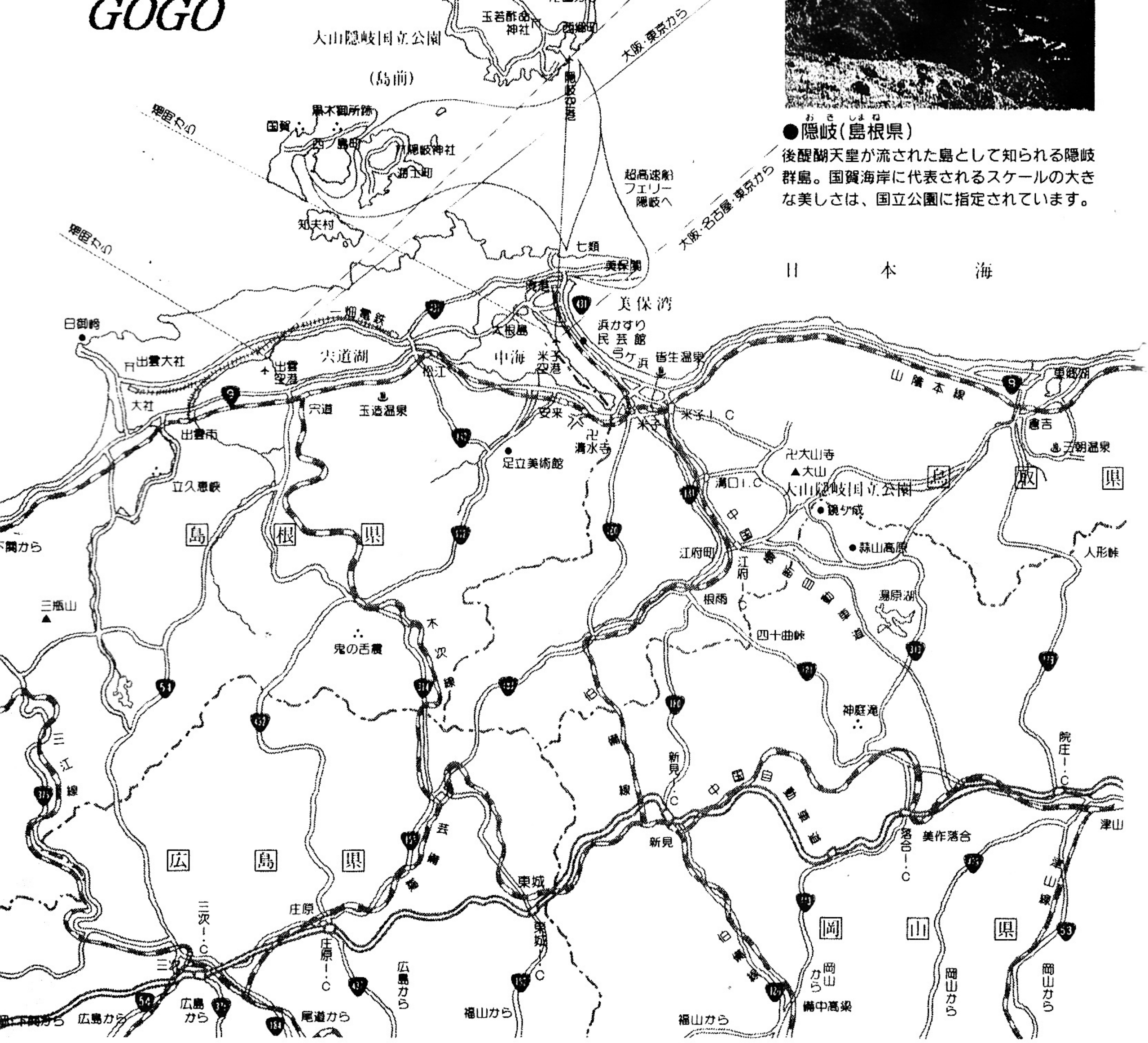
境港市役所 水産商工課 (境港市観光協会)
〒684 鳥取県境港市上道町3000 (0859)44－2111

鳥取県 大阪事務所
〒530 大阪市北区梅田1-1-3-2200 (06)341－3955
大阪駅前第3ビル22F 2号室

鳥取県 東京事務所
〒102 東京都千代田区平河町2~6~3都道府県会館 (03)3263－6751

鳥取県東京物産観光センター
〒100 東京都千代田区丸ノ内1丁目9~1
鉄道会館9F (03)3211－8286

さあ！境港へ GOGO





●隠岐(島根県)

後醍醐天皇が流された島として知られる隠岐群島。国賀海岸に代表されるスケールの大きな美しさは、国立公園に指定されています。



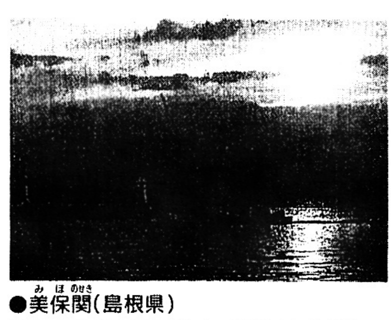
●松江城(島根県)

1611（慶長16）年、堀尾吉晴が築城した別名千鳥城。現在も天守閣と石垣を残し、松江のシンボル的存在となっています。



●大根島(島根県)

大輪の花が4月下旬から5月上旬にかけて見頃となるボタンの花の名産地。日本では数少ない、高麗人参の栽培地としても有名です。



●美保関(島根県)

漁業・海上安全の神様として信仰される美保関神社はエビス様が祭神。民謡「関の五本松」で知られる、のどかな港町です。

フハッ増刊
水木しげるロード大特集

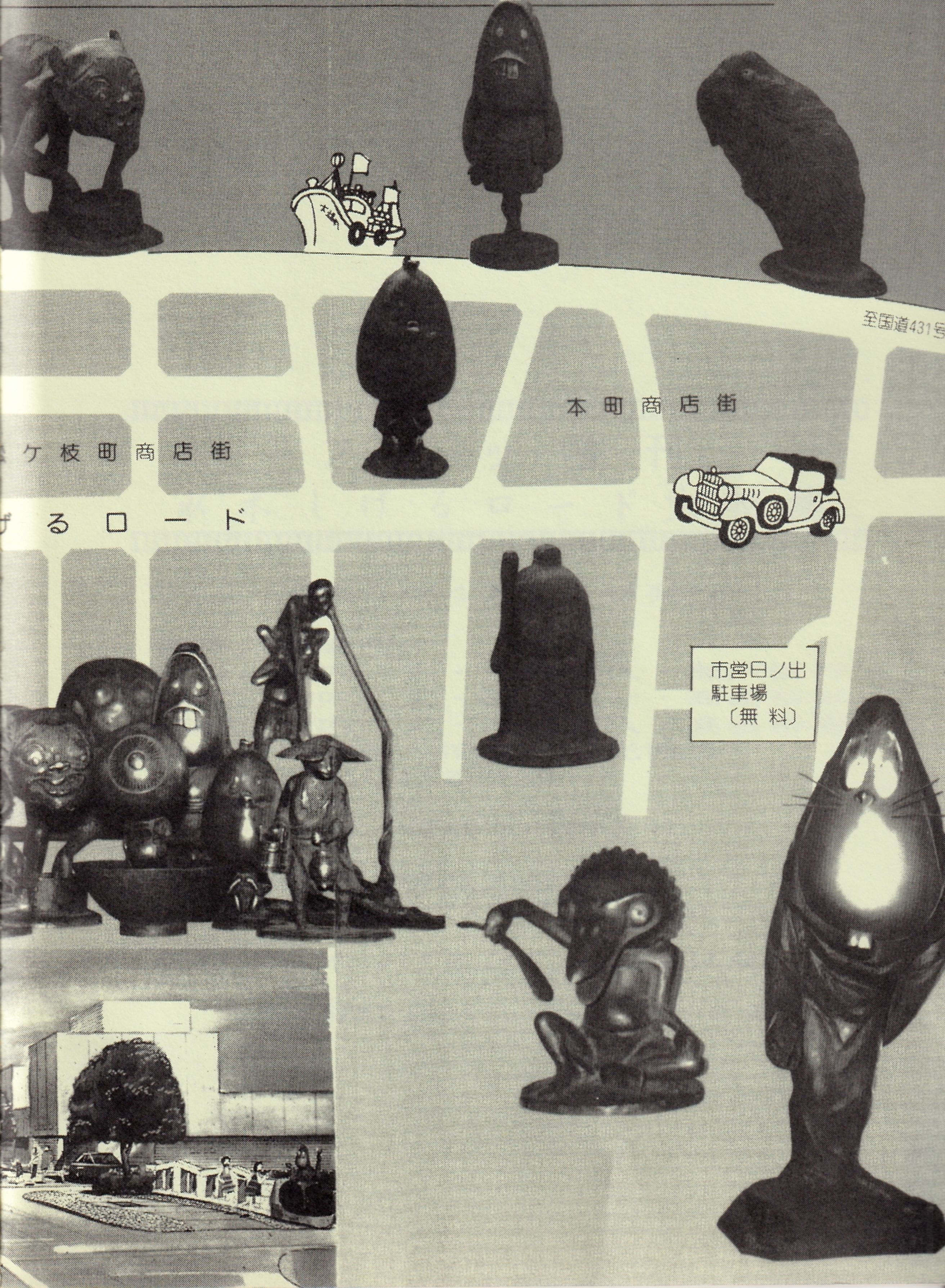
平成６年４月１５日発行

編集／馬場茂幸
担当／竹内　丈・米吉和久・瀬戸信行
資料協力／竹内　丈・福田純一・高畠裕幸
写真撮影／竹内　丈・米吉和久・高畠裕幸
多謝／境港市・境港市観光協会
水木しげる先生
表紙／竹内　丈
カラー口絵／境港市市報より

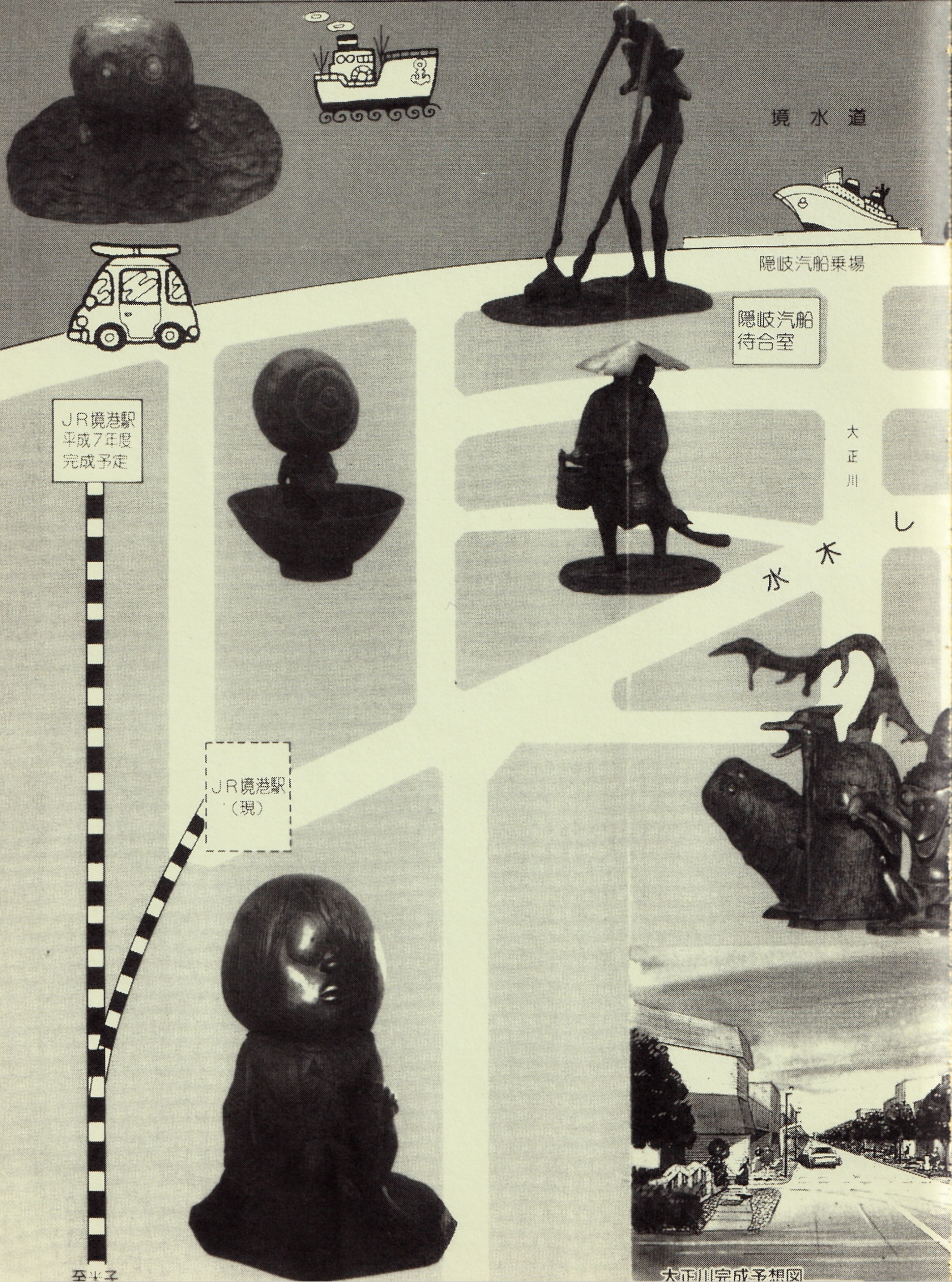
印刷／大阪出版株式会社
プリントハウス

発行／水木しげるＦＣ・水木伝説
〒654-01
神戸市須磨区北落合３丁目３８－２１７－７０９　馬場方

ードで妖怪たちに逢えるのを！



ご存知ですか 水木しげるロー



大正川完成予想図

フハッ増刊 **水木伝説**

